

# 日本気象学会 2004年度春季大会

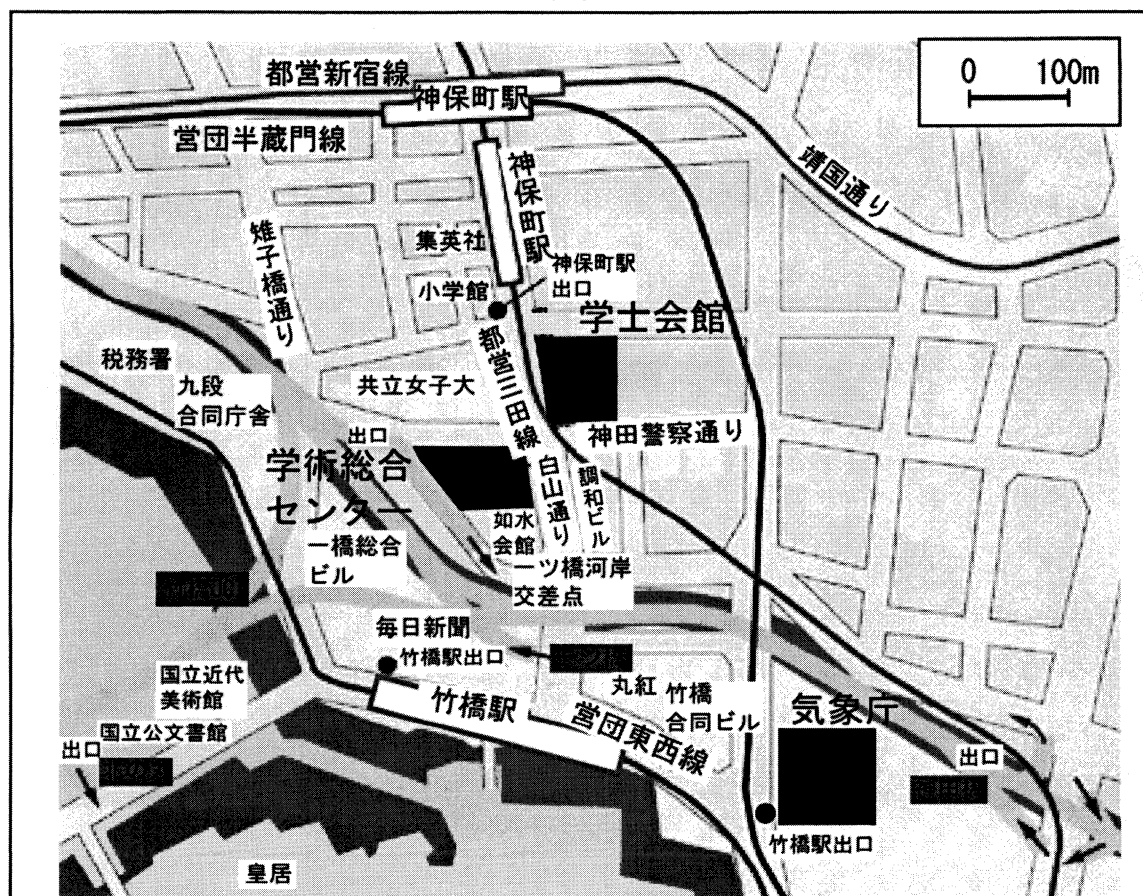
会期：2004年5月16日（日）～19日（水）  
 会場：気象庁（千代田区大手町 1-3-4）  
 学術総合センター（千代田区一ツ橋 2-1-2）  
 学士会館（千代田区神田錦町 3-28）

大会実行委員会担当機関：気象庁  
 大会委員長：大西晴夫

当日の会場への連絡先：

16日(日)のみ TEL：03 (4212) 6624（学術総合センター「中会議場」直通）  
 17日(月)以降 TEL：03 (3212) 8341（気象庁代表電話から「3023会議室」と伝えてください）  
 全日 FAX：03 (3216) 4401（宛先に「大会事務局 3023会議室」と明記してください）

## 会場案内図



## 大会行事予定

A会場 : 学術総合センター一橋記念講堂  
 B会場 : 気象庁講堂  
 C会場 : 学士会館会議室 210  
 D会場 : 学士会館会議室 202  
 ポスター会場 : 学術総合センター中会議室

総会・記念講演・公開講演会・シンポジウム  
 : 学術総合センター一橋記念講堂  
 受付 : 気象庁講堂前(本庁舎2階)  
 大会事務局 : 気象庁3023会議室(3号庁舎2階)  
 懇親会 : 気象庁食堂(本庁舎1階)

		A会場	B会場	C会場	D会場
5月16日 (日)	10:00～ 12:00	降水システムI (10, A101～A110)	気候システムI (9, B101～B109)	気象予報I (10, C101～C110)	中層大気 (9, D101～D109)
	13:00～ 16:30	公開講演会「地球温暖化と異常気象」			
	16:30～ 17:30	ポスター・セッション (82, P101～P182)			
5月17日 (月)	09:30～ 12:00	降水システムII (12, A201～A212)	気候システムII (12, B201～B212)	大気力学 (12, C201～C212)	物質循環I (13, D201～D213)
	12:00～ 13:00	ポスター・セッション (83, P201～P283)			
	14:00～ 15:20	総会			
	15:30～ 17:30	学会賞・藤原賞受賞記念講演			
	18:30～ 20:00	懇親会			
5月18日 (火)	09:30～ 12:00	降水システムIII (4, A301～A304)  観測手法 (8, A305～A312)	気候システムIII (11, B301～B311)	熱帯大気I (11, C301～C311)	物質循環II (11, D301～D311)
	12:00～ 13:00	ポスター・セッション (83, P301～P383)			
	14:00～ 17:30	シンポジウム「2003年の日本の冷夏—異常気象をどこまで理解・予測できるか」			
5月19日 (水)	09:30～ 12:00		気候システムIV (14, B401～B414)	熱帯大気II (12, C401～C412)	大気境界層 (7, D401～D407)  気象予報II (6, D408～D413)
	13:00～ 16:30			専門分科会 (15, C451～C465) 「ストームトラックの力学」	専門分科会 (12, D451～D452) 「海洋地球研究船『みらい』における大気観測—これまでの成果と今後の展望」

発表件数: 446件(専門分科会27, 口頭発表171, ポスター248)

大会参加費: 郵便振替による前納の場合 一般会員 3,000円, 学生会員 2,000円;

当日受付の場合は 一般会員 4,000円, 学生会員 3,000円, 非会員 4,000円。

ただし, 自費で第一日(5月16日)にだけ参加する方については, 会員・非会員とも2,000円とします(この場合, 前納はできません。当日受付にてお払い下さい)。

懇親会費: 郵便振替による前納の場合 一般会員 3,000円, 学生会員 2,500円;

当日払いの場合は 一般会員 4,000円, 学生会員 3,000円, 非会員 4,000円。

大会当日は混雑しますので, 極力前納されるようお願いします。

なお郵便振替用紙は「天気」2003年12月号の末尾に挿入されたものを使い, 5月6日(木)までに振り込んで下さい。

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には, 日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は, 利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは, 〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1 気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail:org-msj@mri-jma.go.jp)まで。

## 受付について

大会の受付は、諸般の事情により、行事の有無に拘わらず**気象庁のみ**で行いますので、必ず気象庁にて受付（参加費の支払いおよび参加票の受取り等）を済ませてから各会場へお向かいください。学術総合センターおよび学士会館では、受付は行いませんのでご注意ください。なお、気象庁から学術総合センター・学士会館へは徒歩6～7分程度です。

## 講演の方法

### 専門分科会

- ・持ち時間は各分科会毎に決められています。詳細は各分科会のプログラムをご覧ください。

### 一般口頭発表

- ・持ち時間は**10分**（講演8分・質疑2分）です。

### ポスター発表

- ・今大会からポスター発表の概要紹介は廃止されました。
- ・講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ・ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、幅**0.9 m**×高さ**1.5 m**となっています。
- ・ポスターの掲示にあたって**紙、ピンが使用できません**。必要な紙、ピンは各自で用意して下さい。
- ・ポスターの掲示可能時間は以下のとおりです。
  - －1日目の発表者は5月16日11:45－18:00
  - －2,3日目の発表者は各日の09:30－17:30

### 機器の使用について

#### ●専門分科会・一般口頭発表

- ・OHP（A会場を除く）とPCプロジェクターが使用できます。
- ・A会場（学術総合センター一橋記念講堂）では、**書画カメラ（コピー用紙等の普通紙を投影可能なプロジェクター）を使用します**。OHPシートの投影も可能ですが、普通紙を利用した方がきれいに投影できます。
- ・PCプロジェクターを使用する際は予め以下の点をご了承ください。

- －PCプロジェクターの使用を希望する場合は、必ず当該セッション開始前の休憩時間に、当該会場で会場係へその旨を申し出て下さい。
- －パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
- －セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、開始前に会場係に申し出て下さい。
- －突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で、発表順を繰り下げたりOHPによる発表に切り替えさせて頂くことがあります。このため、最低限の発表が出来るだけのOHPシートも用意しておいて下さい。

#### ●ポスター発表

- ・ポスター会場での機器の使用は講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

## 総会

日時:大会第2日(5月17日)14:00～15:20

会場:学術総合センター一橋記念講堂

### 議事次第:

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1.開会の辞       | 7.2003年度会計報告       |
| 2.議長選出       | 8.2003年度監査報告       |
| 3.理事長挨拶      | 9.2004年度日本気象学会総会議案 |
| 4.学会賞授与      | 10.2004年度事業計画案     |
| 5.藤原賞授与      | 11.2004年度予算案の審議    |
| 6.2003年度事業報告 | 12.議長解任            |

## 気象学会地球環境問題委員会主催 公開講演会「地球温暖化と異常気象」

日時：大会第1日（5月16日）13:00～16:30

会場：学術総合センター一橋記念講堂

司会：江守正多（国立環境研究所）

**※公開講演会の聴講は無料です**

### 趣旨

近年、異常気象のニュースがマスメディアを賑わす度に、地球温暖化との関係が引き合いに出されるようになってきた。温暖化すると異常気象が増加するのか、近年の異常気象はすでにその現れであるのか、というようなことに対する社会の関心は極めて強い。気象学的に、このまま温暖化が進行すれば100年後に気候が何かしら変わるだろうと言うのは容易である。しかし、今切実に問われているのは、それが我々の生活に具体的にどのような形で立ち現れるのか、我々が生きていく間に深刻な事態が訪れるのか、といったことである。それにどう答えるかは、温暖化対策の取り組み方に影響を与え、将来の温暖化の行く末そのものをも左右する可能性がある。言うまでもなくこの間は難問である。異常気象は気象学が長年取り組んできた問題であるが、未解明の部分も多い。それが人間活動による外力を受けて如何に変わるかという問題は、さらに一段階精度が高い問題である。この講演会では、今までに分かっていることの紹介のみならず、むしろ分からない点、難しい点、それを克服するための今後の研究の方向性などについても含めて考え、一般市民を含めた皆さんと議論し、認識を共有する場としたい。

### プログラム

#### 趣旨説明

地球環境問題委員会担当理事 近藤 豊（東京大学先端科学技術研究センター）

#### 第一部（観測事実的観点から）

基調講演「近年のアジアモンスーン地域での気候変動」

松本 淳（東京大学大学院理学系研究科）

コメント「人と自然の相互作用環

中尾正義（総合地球環境学研究所）

—ユーラシア中央部乾燥域の事例から—

#### 第二部（モデル予測的観点から）

基調講演「コンピュータモデルによる地球温暖化予測」

木本昌秀（東京大学気候システム研究センター）

コメント「地球温暖化によって台風や低気圧はどうなるか」

杉 正人（気象庁気候情報課）

#### 第三部（社会影響・政策的観点から）

基調講演「地球規模水循環研究の最近の動向

寶 馨（京都大学防災研究所）

—人間社会への影響評価と対策シナリオ・技術開発を中心に—

コメント「地球温暖化と異常気象、その影響と対応策」

原沢英夫（国立環境研究所）

#### 質疑

## シンポジウム「2003年の日本の冷夏-異常気象をどこまで理解・予測できるか」

日時：大会第3日（5月18日）14:00～17:30

会場：学術総合センター一橋記念講堂

司会：杉 正人（気象庁気候情報課）

**※シンポジウムの聴講は無料です**

### 趣旨

近年、長期間の観測データの蓄積、再解析データの整備、モデルによるシミュレーションの進展などにより、気候システムの変動のメカニズムについての理解は大きく進んだと思われる。2003年の夏は、ヨーロッパでは記録的な高温となったが、日本では10年ぶりの冷夏となり米の不作など社会に大きな影響が出た。気象庁の予報では、このような冷夏について十分な予報ができなかった。シンポジウムでは、2003年の日本の冷夏に焦点を当てて、我々がこのような異常気象についてどこまで理解し、予測できるかについて討論する。

#### 基調講演

1) 「2003年の日本の夏の実況と予報」

高野清治(気象庁気候情報課)

2) 「2003年夏の北半球ダブルジェット」

前田修平(気象庁気候情報課)

3) 「オホーツク海高気圧の成因と予測への鍵」

中村 尚(東京大学大学院理学研究科)

4) 「ダイポールモードと日本の夏」

山形俊男(東京大学大学院理学研究科)

5) 「北極振動と日本の夏」

山崎孝治(北海道大学大学院地球環境科学研究科)

6) 「欧州熱波と日本の冷夏2003」

木本昌秀(東京大学気候システム研究センター)

#### 総合討論

## 研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

### 第23回メソ気象研究会

日時：2004年5月15日(土)(大会前日) 13:30～17:30

場所：気象庁講堂

テーマ：「台風とそれに伴うメソシステム」

世話人：吉崎正憲(気象研)，坪木和久(名大地球水循環)，小倉義光(東大海洋研)

コンピーナー：坪木和久(名大地球水循環)

趣旨：台風は全体の水平スケールが1000kmを越える大規模な擾乱であるが、そのなかに形成されるメソシステムは数10kmオーダーの現象である。これらの水平スケールの異なる構造が相互に深く関係し合うことで、台風全体が発達し、一方で降水の集中などの局所的なシステムが形成される。この部分と全体の強いリンクが台風をユニークな現象としていると考えられる。この特徴に加え海上で発生・発達することが観測を困難なものにし、この特徴、すなわち大規模と雲スケールの共存共生がその数値シミュレーションを困難にしてきた。近年、衛星やレーダーだけでなく、様々な新しい測器によってさらに踏み込んだ観測が行なわれつつある。また、モデリングにおいても大規模な並列計算による大規模数値実験により、台風の部分と全体を同時に計算することが可能になりつつある。これらの近年の発展が台風について多くの新しい知見をもたらしつつあるが、あらためて台風の研究において何がこれまで明らかにされてきて、今後、観測においてもモデリングにおいても何を明らかにしていかなければならないのかを明確にしておくべきときがあるように思われる。そこでこれを目標として今回のメソ気象研究会では、台風とその部分であるメソシステムについての研究をテーマとして選んだ。

プログラム：

趣旨説明 坪木和久(名大地球水循環)

講演(各講演は質疑・討論を含めて25分)

「気象庁 WINDAS を用いた台風の立体構造に関する研究」 手柴充博(京大宙空電波)

「台風の2重眼について」

林 泰一(京大防災研)

「台風通過時に観測されるメソβスケール"Pressure dip"の研究」

筆保弘徳(防災科研)

「関東地方における台風0221号とメソ前線の変化」

北島尚子(気象研)

「台風のスパイラルバンドの降水強化過程」

野村光春・坪木和久(名大地球水循環)

「台風の非軸対称構造に関する数値実験」

余田成男(京大院理)

「雲解像非静力学2way多重移動格子モデルを用いた台風の予報実験」 益子 涉(気象研)

「THORPEX 計画における台風の観測と予報」

中澤哲夫(気象研)

総合討論

### オゾン研究連絡会

日時：2004年5月18日(火) セッション終了後から

2時間以内

場所：気象庁大会議室(5F)

内容：対流圏オゾンに関連した最近の話題について、以下のお二方に講演をお願いしております。基礎的な話から、現在手掛けられている最新の研究まで、平易にお話して頂く予定です。関心をお持ちの方は是非お集まり下さい。

- 1) 金谷有剛(地球フロンティア)：対流圏オゾンの光化学—最近の進展—
- 2) 北 和之(茨城大)：実際の対流圏オゾン分布を決めるファクター

世話人：笠井康子(通総研)、川上修司、河本 望(JAXA/EORC)、永島達也(環境研)、庭野将徳(京大院理)、村田 功(東北大院環境)

連絡先：村田 功(東北大院環境)

TEL: 022-217-5776, FAX: 022-217-5775,

E-mail: murata@pat.geophys.tohoku.ac.jp

### 極域・寒冷域研究連絡会

日時：2004年5月18日(火) 17:45～2時間程度

場所：気象庁講堂

話題：

1. 南極観測報告
  - 「JARE45におけるクライオサンプリング回収気球実験」 菅原 敏(宮城教育大)
  - 「44次隊越冬報告：南極の気象—カタバ風とブリザード—」 佐藤 薫(極地研)
2. 極域・寒冷域の気候変化
  - 「昭和基地の40年間の気象データに見られる特徴」 平沢尚彦(極地研)
  - 「気象庁におけるオホーツク海の海水解析」 金子秀毅(気象庁)
  - 「永久凍土地帯の炭素循環」 中野智子(都立大)
  - 「山岳氷河の縮小傾向」 藤田耕史(名大)
  - 「大規模大気循環のここ数十年の変動」 小林ちあき(気象庁)

今回の極域・寒冷域研究連絡会の前半は、南極観測隊報告です。先の冬の44次越冬隊及び45次夏隊にて観測に携わった方々から最新の成果を報告して頂きます。

後半は、「極域・寒冷域の気候変化」と題して、観測データに見られるここ数十年の気候の変化についての講演です。最近、極域・寒冷域の観測データの蓄積が進み、数十年規模の変動も議論できるようになってきました。地球温暖化のシグナルが高緯度に現れやすいという議論もありますが、実際の観測データに見られる極域・寒冷域のここ数十年の変動のシグナルについて、観測データの解析に携わる5名の方々から話題提供して頂きます。

代表：山崎孝治(北大院地球環境)

世話人：平沢尚彦(極地研)、中村 尚(東大理)、浮田甚郎(コロンビア大)、高田久美子(地球フロンティア)、阿部彩子(東大気候システム)、佐藤 薫(極地研)、本田明治(地球フロンティア)、齋藤冬樹(東大気候システム)、高谷康太郎(地球フロンティア)

問い合わせ先：高谷康太郎(地球フロンティア)

TEL: 045-778-5526, FAX: 045-778-5707,

E-mail: takaya@jamstec.go.jp

## 秋季大会の予告

2004年度秋季大会は、2004年10月6日(水)～8日(金)にアクロス福岡(福岡市)で開催される予定です。

## 大会第1日 [5月16日] 10:00 ~ 12:00 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

## A 会場

## B 会場

## 降水システムI

座長：橋本明弘(AESTO)

- A101 鈴木健太郎・浅湫吾郎(東大気候システム)他1名  
ピン法粒子モデルによる雲-エアロゾル相互作用  
の数値実験
- A102 芝定孝・平田雄志(大阪大院基礎工学)他1名 気塊  
内で競合的成長する雲粒の平衡半径評価モデル
- A103 岡崎豪(東京海上リスクコンサルティング)・肖鋒  
(東工大)他1名 降水の落下過程への Semi-  
Lagrangian 法の適用
- A104 橋本明弘(AESTO)・村上正隆(気象研) 氷晶核化過  
程に関する診断的パラメタリゼーションの開発
- A105 楠研一・村上正隆(気象研)他3名 雲物理パラメタ  
リゼーションを用いた山岳性降雪雲の雲水量の推  
定
- A106 村上正隆・楠研一(気象研)他4名 航空機による山  
岳性降雪雲の内部構造の観測(V)
- A107 永戸久喜・青梨和正(気象研)他5名 WAKASA2003  
(WMO-03)中の降雪システムについての AMSR-E  
観測と雲解像モデルの比較
- A108 加藤輝之(気象研) 2003年7月20日熊本県水俣市  
で発生した集中豪雨の発生メカニズム その2:甌  
島列島と天草~長島にかけての地形の影響につい  
て
- A109 那須野賀江(地球フロンティア) 熱帯のスコールラ  
インの3次元数値実験
- A110 富田浩文(地球フロンティア)・佐藤正樹(地球フロ  
ンティア/埼玉工大)他1名 全球非静力学モデル  
NICAM への雲微物理過程の実装

## 気候システムI

座長：釜塚弘隆(気象研)

- B101 石井正好(気象研)・木本昌秀(東大気候システム)  
20世紀海洋データ同化 -予備の実験-
- B102 大野木和敏(気象庁気候情報)他 JRA-25 長期再解  
析プロジェクト 再解析のデータ同化システム
- B103 初鹿宏壯・筒井純一(電中研) JRA-25 長期再解析プ  
ロジェクト再解析における台風位置情報の活用  
その2-
- B104 谷田貝亜紀代(地球研)・杉本敦子(北大院地球環境)  
他1名 中国北西部 Qiyi 氷河周辺の水蒸気輸送-  
水蒸気の同位体解析ケーススタディー-
- B105 山崎剛(観測フロンティア)・太田岳史(名大生農)他  
1名 ルーチンデータをを用いたシベリアタイガ林で  
の長期フラックス推定-降雪遮断と開葉日の影響  
-
- B106 佐藤友徳(JST)・木村富士男(筑波大地球科学) 北東  
アジアにおける乾燥気候の形成に対するチベット  
高原の役割
- B107 Haris Syahbuddin(神戸大自然)・E. Runtuwuu  
(Indonesia AHR1) 他3名 Climate Change in  
Indonesia : Observation during 1980-2002 and  
Simulation for 2010-2039
- B108 横堀誠・小倉健夫(茨城県林業技術センター) 原因  
不明のスギ針葉変色と衰弱-気象害の可能性-
- B109 正村史朗(総合科学研) 2004~06年干天、2015年  
冷夏、2020年冷夏、2022~28年2年間と4年間  
の大凶冷を予測

## 大会第1日 [5月16日] 10:00 ~ 12:00 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す。)

## C 会場

## 気象予報 I

座長：川畑拓矢(気象研)

- C101 藤田司・石田純一(気象庁数値予報)他 10 名 現業用非静力学モデルの実験運用について
- C102 川畑拓矢・黒田徹(気象研)他 5 名 水蒸気を同化する非静力学 4 次元変分法データ同化システム—JNoVA 開発報告(第3報)—
- C103 斉藤和雄(気象庁数値予報) NHM 時間積分における浮力の扱いと連続式における水蒸気拡散の考慮について
- C104 熊谷幸造・斉藤和雄(気象庁数値予報) 気象庁非静力学モデルの境界層過程の改良
- C105 荒波恒平・石田純一(気象庁数値予報) 気象庁非静力学モデルへの 2 次元領域分割法の実装
- C106 深尾一仁・大澤輝夫(岐阜大院工)他 3 名 MM5 を用いた局地気象予測の可能性に関する検討(その2)
- C107 Soon-Hwan Lee・Chan-Su Ryu(Chusun Univ.) 下層ジェットが朝鮮半島南部地方の集中豪雨に及ぼす影響
- C108 坪田幸政(慶應義塾高)・増田有俊(日本気象協会)他 1 名 メソスケール気象モデルのルーチン運用とその教材化
- C109 坪田幸政(慶應義塾高)・高橋庸哉(北海道教育大付属教育実践) 体験学習「大気の科学のスーパーサイエンス」の開発
- C110 白木正規(気象大) 台風の暴風域に入った時間数の統計と天候デリバティブへの利用

## D 会場

## 中層大気

座長：山森美穂(情報通信研究機構)

- D101 西井和晃(東大院理)・中村尚(東大院理/地球フロンティア) 2002 年 9 月の南半球成層圏突然昇温の対流圏起源について
- D102 森明子・廣岡俊彦(九大理)他 2 名 南半球 2002 年冬季における成層圏突然昇温について
- D103 渡辺真吾(地球フロンティア)・永島達也(環境研) 高解像度 AGCM を用いて重力波抵抗パラメタリゼーションを最適化する試み
- D104 河谷芳雄・高橋正明(東大気候システム) 南半球傾圧不安定波帯に於ける重力波の解析
- D105 吉識宗佳(京大理)・木津暢彦(気象庁)他 1 名 昭和基地ラジオゾンデ集中観測データに基づく南極域重力波の研究
- D106 山森美穂・村山泰啓(情報通信研究機構)他 2 名 オゾンゾンデ 3 時間毎観測に現れた大気重力波にもなるオゾン変動
- D107 野口克行・今村剛(ISAS/JAXA)他 1 名 下部成層圏における慣性重力波砕波に伴うオゾンの鉛直混合
- D108 杉田孝史・中島英彰(環境研)他 7 名 ILAS-II パーバージョン 1.3 による下部成層圏オゾンデータ質の評価
- D109 中村卓司・福島徹也(京大宙空電波)他 5 名 MLT 領域大気光の構造の日米協同観測

## 大会第1日 [5月16日] 16:30 ~ 17:30 ポスターセッション

(~~~~は講演者を表す)

- P101 戸田求(北大低温暖研)・渡辺力(森林総研)他 5名 環境変化が100年後における森林の群落動態・物質収支に及ぼす影響予測
- P102 関隆則(気象予報士会) 関東における気温日較差変化のフラクタル次元と地域性
- P103 田口純平(東海大)・立花義裕(東海大/地球フロンティア) ENSO に対するグローバル大気非線形・非対称応答
- P104 鈴木香寿恵(総研大)・山内恭(極地研/総研大)他 1名 バックワード・トラジェクトリー解析による1997年の南極域の大気輸送
- P105 若月泰孝・安永数明(AESTO)他 7名 高分解能非静力学モデルによる領域気候予測:JMA-NHM の長期積分実験の予測精度評価(1)
- P106 大楽浩司(環境研)・江守正多(地球フロンティア)他 4名 CCSR/NIES AGCM にネスティングした NIES-RAMS による21世紀のアジアの水循環変動
- P107 村田泰洋(北大理)・保坂征宏(気象研)他 2名 氷床流動モデルの構築:気候モデルへの導入に向けて
- P108 浜田純一・森修一(観測フロンティア)他 9名 インドネシア・スマトラ島西部における降水日変化
- P109 田中実(気象研) 2003年の日本の冷夏と過去121年間の冷夏と ENSO・アジアモンスーンの関係
- P110 蒲生稔・前田高尚(産総研)他 3名 北半球の中高緯度落葉樹林帯の展葉時期の経年変化
- P111 村崎万代(気象研)・Peter Hess(NCAR) 地球温暖化は地表面オゾンにどのような影響を与えるのか?
- P112 冨田智彦(熊本大/地球フロンティア)・野中正見(地球フロンティア) 北太平洋冬季海面水温の変動に及ぼす海洋混合層の効果について
- P113 内田敬・大平智章(東京理科大)他 4名 1999年度夏季の大気汚染物質の低濃度現象
- P114 吉門洋(産総研)・椿貴博(日本気象協会) 近年の光化学オキシダント増加と夏季の気候変化
- P115 古林慎哉・坂本雅巳(気象庁気候情報)他 1名 JRA-25長期再解析プロジェクト TOVS オフライン品質管理
- P116 松本隆則・小出寛(気象庁気候情報)他 1名 JRA-25長期再解析プロジェクト SSM/I 積雪データ
- P117 吉松雅行・宮原三郎(九大理) 皆既日食により励起される大気擾乱のシミュレーション
- P118 伊賀晋一・富田浩文(地球フロンティア)他 2名 正二十面体格子モデル NICAM による温帯低気圧ライフサイクル実験
- P119 稲津将(北大院地球環境)・Brain J. Hoskins (英国 Reading 大) 南半球ストームトラックの東西非対称性の季節および経年変動
- P120 北村祐二(東大)・松田佳久(東京学芸大) 回転成層流体における乱流のエネルギー輸送過程
- P121 鈴木臣・塩川和夫(名大 STE 研)他 4名 大気光画像データを用いた中間圏重力波の運動量フラックスの導出
- P122 小高正嗣(北大理)・石渡正樹(北大地球環境)他 3名 階層的地球流体力学スペクトルモデル集 SPMODEL
- P123 穂積祐・植田洋匡(京大防災研)他 1名 大規模山岳風下側における渦の鉛直構造
- P124 真野裕三・石元裕史(気象研)他 1名 次世代サウンダー用の高速放射モデルの開発について(2)
- P125 増田一彦・真野裕三(気象研)他 1名 次世代赤外サウンダーの選択チャネルの共通性 (1)
- P126 山崎明宏・内山明博(気象研)他 2名 ADEC スカイラジオメーターネットワークによる観測 2002年・2003年の観測結果について
- P127 杉田明子(フランクリン・ジャパン) JLDN で観測された2003年の沖縄地域の落雷
- P128 有沢雄三(日本気象協会) 商船用自動気象観測・通報システムの開発
- P129 井口俊夫(情報通信研究機構)・古津年章(島根大)他 3名 TRMM 降雨レーダによる降水推定アルゴリズムの新しいバージョン
- P130 瀬戸心太・高橋暢宏(情報通信研究機構)他 1名 マイクロ波放射計による陸上降雨判定手法の比較
- P131 門崎学(総合研究大院)・山内恭(総合研究大院/極地研)他 1名 南極域の雲検出、及び雲と海氷の相互作用
- P132 吉田幸生・浅野正二(東北大院理) 能動型・受動型センサを組み合わせた混合相雲微物理量導出アルゴリズムの開発-数値シミュレーションによる能動型センサの感度解析-
- P133 門田和士・阿部吉和(大阪府立大)他 3名 ブロードバンドレーダの研究開発と初期観測結果
- P134 酒巻洋・安藤俊行(三菱電機)他 8名 風況精査用光波レーダの開発(1)-システム構成および初期評価
- P135 山本浩嗣・福田正人(気象庁観測部)他 3名 屈折率ポテンシャルを用いた気象庁ウィンドプロファイラ(WPR)による水蒸気量の推定
- P136 和田晃・澤庸介(気象研)他 3名 南鳥島に出現する顕著な CO<sub>2</sub> 濃度の低下現象について
- P137 石郷岡康史・桑形恒男(農環研)他 3名 20世紀の気候変動に伴うアジアにおける灌漑要水量の時空間分布特性
- P138 平松和彦(北海道旭川西高) 教室でおこなう過冷却水の凍結実験
- P139 和田勝也・村山利幸(東京海洋大海洋工学) 紫外ラマンライダーによる対流圏エアロゾルの光学的性質
- P140 河合徹・神田学(東京工大理工)他 1名 3次元簡易都市放射解析モデルの構築と検証
- P141 山下浩史(気象庁数値予報) 2000年7月4日東京大手町の大雨と降雹について(ドップラーレーダー観測を取り入れた解析)
- P142 古津年章・下舞豊志(島根大)他 4名 EAR およびデイスドロメータによるスマトラ・コトタパンの雨滴粒径分布特性解析
- P143 花田隆・道本光一郎(防衛庁)他 1名 地上用雷電探知装置による航空機被雷の解析
- P144 足立透・福西浩(東北大院理)他 3名 日本の冬季スプライトを発生させる雷雲の特徴



- P145 山本宗尚・中村健治(名大地球水循環) TRMM データによる日本周辺域における冬季降水の鉛直構造
- P146 森正二・楠研一(気象研)他 4 名 群馬県北部山間部(宝台樹)における地上降雪粒子観測 - 2001 年 12 月, 2002 年 12 月 -
- P147 足立アホロ・小林隆久(気象研)他 ウィンドプロファイラーによる線状降水系の観測
- P148 渡辺明(福島大) 2004 年 1 月 14 日の Longitudinal-mode 降雪雲の形成について
- P149 大井淳・余偉明(東北大院理)他 1 名 首都圏における晴天日に発生した短時間強雨の数値シミュレーション
- P150 荒木孝輔・柴垣佳明(大阪電通大)他 X-BAIU-02 期間中に観測された低気圧中心近傍の降水システムの特徴
- P151 三浦勇一(東京理科大) 激しい降水を伴った巨大積乱雲の風系によって誘起される中規模水平循環
- P152 田平誠・高橋岳之(愛知教育大)他 2 名 上空をジェット機が通過する際に地上で観測される気圧変化
- P153 中井太郎(JST/北大低温研)・兒玉裕二(北大低温研)他 2 名 複雑地形上におけるフラックスの評価について - Planar fit 法のパラメータ決定に関する考察 -
- P154 浜田崇(長野県自然保護研究所)・一ノ瀬俊明(環境研)他 3 名 長野市街地に流入する山風の特徴
- P155 中村敏行(東海大教養)・松島和宏(東海大工学)他 1 名 東海大学湘南キャンパスの雪が積もりにくい事と謎の海陸風の日変化の関係
- P156 石田祐寛(弘前大理工)・安田延壽(東北大院理)他 CAPS2003 観測データを用いた接地気層乱流の構造(1)-高次相関量の確率分布を中心として-
- P157 松下拓樹(千葉大院自然) 雲片融解過程における着氷性の雨の発生条件
- P158 三浦裕亮・木本昌秀(東大気候システム) 有限体積/有限差分混合スキームを用いた正 20 面体格子上の浅水波モデル
- P159 伊藤希望(輪島測候所)・楯尾守昭(気象大) 不連続面を考慮した気象データ解析手法の開発
- P160 窪瀬健太郎・渡部雅浩(北大地球環境) 熱帯 SST の変動に対する対流性上層雲の応答
- P161 佐藤芳昭・竹内義明(気象庁数値予報)他 1 名 気象庁現業メソスケールモデルにおけるマイクロ波放射計データ利用
- P162 森征洋(香川大教育)・長谷川忍(三豊中学校) 小・中学校の理科教科書における気象分野の扱いの問題点について
- P163 仲田伸也(筑波大自然)・井上忠雄(筑波大生命環境)他 2 名 さいたま新都心で夏季晴天時に観測された積雲の発達過程
- P164 高木敏明・和田将一(東芝)他 2 名 雲解像モデル CReSS による集中豪雨の量的予測の精度向上
- P165 上延史・石渡正樹(北大地球環境)他 7 名 スマトラ島西海岸における西方伝播する雲域の持続性について
- P166 益子涉(気象研) 2way 3 重移動格子モデルを用いて再現された T0215 の中心構造
- P167 小田昌人・板野裕久(防大地球)他 3 名 非軸対称な 2 重眼構造の形成と台風にみられるトロコイダル運動との関係について
- P168 西憲敬(京大院理)・山本真之(京大宙空電波)他 3 名 赤道大気レーダーを用いた対流圏上層層状雲付近の鉛直循環の解析
- P169 柴垣佳明(大阪電通大)・古津年章(島根大)他 7 名 スマトラで観測された熱帯対流システムの階層構造
- P170 荒木龍哉・山中大学(神戸大自然)他 5 名 インドネシア・ジャワ島西部スルボンにおける風の日変化と対流活動日周期変動
- P171 茂木信宏・近藤豊(東大先端研)他 3 名 都市大気中の Black Carbon 観測(質量吸収断面積の評価と BC/CO 比の変動)
- P172 山本勝(和歌山大教育) 累積個数分布関数を用いた凝縮方程式のセミラグランジュ法とその補正
- P173 清水厚・杉本伸夫(環境研)他 4 名 小型ライダーにより観測されたダスト・液滴エアロゾル鉛直分布の変動
- P174 荒生公雄・石坂丞二(長崎大)他 12 名 九州西海岸地方における 2003 年春の黄砂現象
- P175 木下篤哉・堤之智(気象庁環境気象) バックトラジエクトリ解析を利用した空気塊通過地域の影響
- P176 黒崎泰典(気象研/JST)・三上正男(気象研) 東アジアのダスト発生臨界風速マップ
- P177 宮崎和幸・岩崎俊樹(東北大院理)他 1 名 対流圏・成層圏オゾン子午面輸送特性の季節変化
- P178 佐藤弘樹・北和之(茨城大理)他 5 名 オゾンゾンデで観測されたタイ・香港における春季対流圏オゾン増大要因の研究
- P179 伏見克彦(気象大)・宮川貴光(室蘭地方気象台) 降水の酸性度に対する有機酸の寄与について
- P180 石澤みさ・Shamil Maksyutov(地球フロンティア)他 2 名 輸送モデルによる日本上空 CO<sub>2</sub> 濃度変動のシミュレーション
- P181 江尻省・中島英彰(環境研)他 2 名 SFIT2 を用いてギルナ FTIR スペクトルから導出した HNO<sub>3</sub> と N<sub>2</sub>O の高度分布と衛星データ(ILAS)の比較
- P182 上出一美・眞木貴史(気象庁環境気象) 逆解析を用いた亜大陸規模での CO<sub>2</sub> 年平均フラックスの解析

## 大会第2日 [5月17日] 09:30 ~ 12:00 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

## A会場

## 降水システムII

座長：遠峰菊郎(防大)

- A201 二宮洗三・西村照幸(地球フロンティア)他3名 大気気候モデル T106L52 によるアジア大陸東岸の寒気吹出と気団変質の再現
- A202 大東忠保・坪木和久(名大地球水循環) 上層メソスケールトラフに伴う冬季日本海上の帯状雲の発達と小低気圧の発生
- A203 片山勝之・高森縁(東大気候システム) TRMM PRデータのメソスケール統計を用いた熱帯・亜熱帯域の降雨特性とその降水要因についての研究
- A204 坪木和久(名大地球水循環) 上層乾燥空気の侵入に伴う梅雨前線南側における降水強化ー 2003年7月19-20日の九州の豪雨を例としてー
- A205 三村恭則・原昌弘(気象大) TOGA COARE スコープラインに対する鉛直シアの役割の数値実験
- A206 金井秀元・新井宏(東大海洋研) PV inversion を用いた診断的解析ー 1999年10月27日に関東地方に大雨をもたらした低気圧ー
- A207 中井真人・石坂雅昭(防災科研)他1名 柏崎の突風(2004年2月5日)をもたらした雪雲のドップラーレーダー観測
- A208 石部勝・中里真久(気象研)他5名 ダウンバーストの前兆としての降水コアの急激な落下ー 2003年10月13日、千葉県成田市宗吾地区の事例ー
- A209 石渡宏臣・小林文明(防大地球)他 降雪雲に伴う突風の微細構造
- A210 小林文明・菅原広史(防大地球)他5名 夏季東京都心周辺におけるドップラーソーダ観測ー対流雲発生時の下層大気構造を捉える試みー
- A211 三浦大輔・水野量(気象大) L-moments を用いた強風の再現期待値の推定
- A212 遠峰菊郎・藤原宏匡(防大) 東北地方中通りにおける霧の解消について

## B会場

## 気候システムII

座長：大和田道雄(愛知教育大)

- B201 石川由紀・大和田道雄(愛知教育大) 東アジアにおける秋季の豪雨発生に関わる帯状流のトラフと亜熱帯高圧帯
- B202 田上浩孝・新野宏(東大海洋研) 梅雨前線 index に基づく明瞭年・不明瞭年の大規模場の特徴
- B203 大和田道雄(愛知教育大)・中山祐真(岡山大院) 東アジアの梅雨前線活動期における水平風ベクトル解析からみた大気循環場の変動
- B204 加藤内蔵進(岡山大教育) 東アジアの季節進行の中で見た瀬戸内型気候の降水について(序報)
- B205 服部桂三・加藤内蔵進(岡山大教育) 3月頃の関東の低温と南岸低気圧に関する総観気候学的解析
- B206 大和田道雄(愛知教育大)・内山智穂(愛知県) 北太平洋高気圧の盛衰に伴う名古屋市のヒートアイランドの挙動について
- B207 大和田道雄(愛知教育大)・中川由雅(愛知教育大院) 北太平洋高気圧時における名古屋市の局地降雨変化特性
- B208 藤部文昭・山崎信雄(気象研)他1名 日本における雷の頻度の時刻別長期変化
- B209 山崎信雄(気象研) 極値順位データによる短時間豪雨の経年変化
- B210 谷貝勇(気象研) 地球温暖化が影響する日本の冷夏と暑夏について
- B211 力石國男・白井菜穂(弘前大理工) 都市の温暖化に対する放射冷却逆転層形成の影響
- B212 山内明子・甲斐千尋(東洋大院生命科学)他1名 冷夏時の海水温変化におけるフラクタル的情報構造ー伊豆半島周辺を例としてー

## 大会第2日 [5月17日] 09:30 ~ 12:00 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

## C 会場

## 大気力学

座長：田中 博(筑波大地球科学)

- C201 樋口阿里沙(京大理)・酒井敏(京大人環) 济州島の風下に見られるカルマン渦の特徴～成層および三次元効果の影響～
- C202 小田昌人・板野稔久(防大地球)他 1名 台風 Herb にみられた楕円形眼の形成過程について
- C203 沢田雅洋・余偉明(東北大院理) 重力波におけるロープ・クレフト構造の数値的研究
- C204 佐藤英二・金久博忠(気象大) 軸対称渦の安定性解析:浅水系 N 領域モデル
- C205 石川龍(東海大教養)・松島和宏(東海大工学)他 1名 鉛直設置型閉ループ内熱対流実験～主流のカオスの反転の条件とその分析～
- C206 松島和宏(東海大工学)・関本諭(東海大教養)他 1名 半球規模  $\beta$  効果を持つ傾圧不安定波動室内実験
- C207 今村剛(JAXA 宇宙科学) 鉛直シアー中の赤道波による南北運動量輸送:金星への応用
- C208 高木征弘(東大理)・松田佳久(東京学芸大) 金星上層大気の変動
- C209 大縄将史・新野宏(東大海洋研) 現実大気と傾圧モデルの擾乱に見られる位相速度と振幅の変動
- C210 杉本憲彦・石岡圭一(京大理)他 1名 f 平面浅水系における非定常なジェットからの重力波放射について
- C211 末吉雅和・岩山隆寛(神戸大院自然)他 1名 一般化された2次元乱流における自己相似減衰
- C212 根本秀則(地球フロンティア)・Tivon Jacobson(東大院理)他 1名 気候モデルにおける傾圧不安定のパラメータ化-エネルギー論に基づく新しい渦移流速度の導出-

## D 会場

## 物質循環I

座長：竹川暢之(東大先端研)

- D201 青木輝夫(気象研)・藤井理行(極地研) 南極ドーム F 氷床コアから推定した過去 32 万年間の大気エアロゾルの光学的厚さ
- D202 清野直子(気象研) タリム盆地におけるダストストームの発生環境
- D203 堂松展充・甲斐憲次(名大院環境)他 1名 タクラマカン砂漠のダスト層高度とタリム盆地の局地循環
- D204 山本哲・清野直子(気象研) タリム盆地の風送ダスト飛散・輸送シミュレーション
- D205 松本拓也・甲斐憲次(名大院環境)他 6名 中国アクスにおけるライダーシステム高精度化とエアロゾル鉛直分布に関する研究
- D206 村山利美・和田勝也(東京海洋大海洋工学)他 1名 多波長ラマンライダーで観測された森林火災起源エアロゾルの光学的特質
- D207 藤田高士・甲斐憲次(名大院環境)他 2名 名古屋で採取されたエアロゾルに対する黄砂の影響について
- D208 鶴田治雄(東大気候システム)・須藤重人(農環研)他 9名 APEX 総合観測期間中に奄美大島で測定した春季の大気エアロゾル:(1)化学組成と発生源推定
- D209 梶野瑞王・植田洋匡(京大防災研)他 1名 三宅島噴火の結果として生じた硝酸・塩酸による酸性沈着の増加
- D210 竹川暢之・近藤豊(東大先端研)他 5名 質量分析計で観測された都市大気における微小エアロゾル濃度の季節変動
- D211 宮崎雄三・近藤豊(東大先端研)他 4名 PILS - IC によって観測された都市大気中の硝酸塩粒子生成とその季節変化
- D212 森野悠・近藤豊(東大先端研)他 7名 都市大気中における硝酸のガス-エアロゾル分配比の評価
- D213 宮川拓真・近藤豊(東大先端研)他 3名 東京における硫酸塩エアロゾル濃度の挙動

## 大会第2日〔5月17日〕12:00～13:00 ポスターセッション

(~~~~は講演者を表す.)

- P201 馬場賢治(北大低溫研)・見延庄士郎(北大院理)他 2 名 南極海水域における海水と大気の季節内変動の関係について
- P202 遠藤伸彦(地球フロンティア)・門田勤(観測フロンティア)他 3 名 モンゴルにおける夏季降水特性の特徴とその長期変化
- P203 高橋清利(気象研) 中国地上気象記録資料による現在気候シミュレーションの検証:その2
- P204 永田琮奈・三上岳彦(都立大) 1970 年代後半に見られる ENSO と東アジア夏季降水頻度との関係変化
- P205 千喜良稔・阿部彩子(東大気候システム)他 1 名 中期完新世の緑のサハラに関する GCM 実験:非混合層起源対流のインパクト
- P206 松下拓樹(千葉大院自然) 季節平均気温からみた降水形態の様相変化
- P207 早崎将光・菅田誠治(環境研) ユーラシア大陸上における寒気吹き出しの長期変動
- P208 五十嵐弘道・増田耕一(地球フロンティア)他 5 名 Recycling Rate から見た Global 水循環の変動特性について
- P209 梶川義孝・安成哲三(名大地球水循環) 南シナ海モンsoon域における季節内変動の経年変動特性
- P210 遠藤洋和(気象庁気候情報) 2003 年夏の循環場の解析～エルニーニョ現象ピーク後の夏季という観点から～
- P211 網野尚子・木本昌秀(東大気候システム) 重力波抵抗スキームの違いによる降水量の変化について
- P212 渡辺力・中井裕一郎(森林総研)他 8 名 群落多層モデルを用いた冷温帯落葉樹林における熱・炭素収支の検討
- P213 杉本志織・上野健一(滋賀県立大) 滋賀県周辺での光化学オキシダントの輸送過程に関する気象学的解析
- P214 大石龍太・阿部彩子(東大気候システム) 動態植生結合大気大循環モデルの平衡解
- P215 湯本道明・中根和郎(防災科研)他 5 名 平成 15 年台風第 10 号 Etou と北海道日高地方で発生した水害
- P216 釜堀弘隆・山崎信雄(気象研)他 4 名 JRA-25 長期再解析プロジェクト—SSM/I 可降水量の同化とそのインパクト—
- P217 小出寛・古林慎哉(気象庁気候情報)他 1 名 JRA-25 長期再解析プロジェクト 長期再解析における各種物理量の平均的特性(速報)
- P218 山田嘉典・福西浩(東北大院理)他 1 名 南極昭和基地上空中間圏界面における Na 夜間大気光の波状パターンについて
- P219 石井守・久保田実(情報通信研究機構)他 4 名 極域熱圏における中性鉛直風の水平分布
- P220 高藪出・佐々木秀孝(気象研)他 1 名 地域気候モデル(MRI-RCM)におけるアジア大陸上の低気圧活動
- P221 山田由貴子(北大院理)・石渡正樹(北大院地球環境)他 2 名 水惑星実験における赤道域降水活動の放射冷却率鉛直分布依存性
- P222 宇野美代・岩崎俊樹(東北大院理) 波動平均流相互作用に基づく大気のエネルギー収支解析 2 ～定常成分と非定常成分の分離～
- P223 小西丈子(北大院理)・石岡圭一(京大院理) f-平面浅水系の円盤領域における孤立渦の安定性
- P224 深堀正志・青木忠生(気象研)他 1 名 低温下における CO<sub>2</sub>: 2.7 $\mu$ m 帯の吸収線パラメータの測定
- P225 藤枝綱・深堀正志(気象研)他 2 名 室温下における CH<sub>4</sub>:  $\nu_1+\nu_4$  帯・ $\nu_3+\nu_4$  帯の吸収線強度と半値半幅の測定
- P226 田中智寛・横田達也(環境研)他 5 名 ILAS-II ch. 1 の測定領域における CH<sub>4</sub>:  $\nu_4$  帯の高分解能吸収スペクトル測定
- P227 桜井篤(東北大院工)・円山重直(東北大流体研)他 2 名 ふく射要素法を用いた雲領域における三次元ふく射伝熱の影響
- P228 田平誠・山本さき(愛知教育大)他 6 名 T 型ラインマイクrohon のノイズ減殺効果
- P229 田中博春・小籠宏之(環境研)他 3 名 定点連続撮影カメラを利用した積雪深推定方法の検討
- P230 井上豊志郎(気象研)・牛尾知雄(大阪府立大学) MSG の赤外多チャンネルデータによる降水域推定について
- P231 磯田総子(JST)・青梨和正(気象研)他 2 名 青梨リトリバルアルゴリズムを用いて計算された TRMM/TMI の降水量に関する研究
- P232 奥勇一郎・石川裕彦(京大防災研)他 1 名 中国の気象衛星・風雲 2 号(FY2B)データのバリデーション
- P233 Nick Schutgens・熊谷博(情報通信研究機構) Interpretation of oversampled radar reflectivity profiles
- P234 Findy Renggono(BPPT,Indonesia)・橋口浩之(京大宙空電波)他 2 名 赤道大気レーダーによる熱帯域降水特性の研究
- P235 若山俊夫・酒巻洋(三菱電機)他 8 名 風況精査用光波レーダーの開発(2)ー風速ベクトル算出結果の評価
- P236 塩川和夫・鈴木臣(名大 STE 研)他 8 名 高感度冷却 CCD カメラを用いた大気分光温度フォトメータの開発 2 ナトリウムライダーとの比較
- P237 吉岡謙介(都立科学技術大)・水谷耕平(情報通信研究機構)他 4 名 多波長ライダーによるアラスカ大気の観測
- P238 岡部雅世(東海大)・立花義裕(東海大/地球フロンティア) 北太平洋の下層雲の年々変動と大気場の関連性
- P239 古本淳一(京大宙空電波)・瀬古弘(気象研)他 3 名 大気レーダーを用いた大気水蒸気プロファイル推定への変分法導入の試み
- P240 吉田真純・森征洋(香川大院教育) 2000 年 3 月 28 日に中国・四国地方を通過した寒冷前線についてー高知市でダウンバーストを引き起こした線状対流系の解析ー
- P241 山本享(国土環境)・吉野正敏(国連大学/国土環境)他 1 名 東アジアにおけるダストストーム発生に関する総観気候学的研究
- P242 山中吾郎(気象庁気候情報)・石井正好(気象研)他 3 名 気象庁新エルニーニョ予測モデル(JMA-CGCM02)の性能評価

- P243 市川裕樹(筑波大生命環境)・安成哲三(名大地球水循環) インドネシア海洋大陸における降雨活動の日変化の時空間特性- TRMM 衛星データによる解析
- P244 金賀将彦・河合徹(東工大理工)他 1 名 3 次元屋外模型都市実験による顕熱輸送効率の検討
- P245 池田健一・檜山哲哉(名大地球水循環) 降雨の安定同位体比の短期時系列変動を用いた大気境界層内における水蒸気の動態の把握
- P246 山根悠介(京大院理)・林泰一(京大防災研) バングラデシュにおける竜巻の気候学的特徴と発生時の大気環境場の特徴について
- P247 井口俊夫・高橋暢宏(情報通信研究機構)他 14 名 CREST「衛星による高精度高分解能全球降水マップの作成」研究(II)衛星搭載マイクロ波放射計降水リトリバルアルゴリズムの改良
- P248 牛尾知雄(大阪府立大)・磯田総子(JST)他 6 名 CREST「衛星による高精度高分解能全球降水マップの作成」研究(III)衛星搭載マイクロ波放射計による全球降水マップの作成、評価、高度化
- P249 花土弘・中川勝広(情報通信研究機構)他 4 名 CREST「衛星による高精度高分解能全球降水マップの作成」研究(IV)マイクロ波放射計降水強度リトリバルアルゴリズムの改良および検証のための降雨観測実験
- P250 小嶋正也・浅野正二(東北大院理)他 1 名 NOAA-AVHRR データ解析によるヤマセ雲の雲物理構造
- P251 田中健路(熊大工)・守田治(九大院) 2003 年 7 月 20 日九州南部集中豪雨～現地観測資料の観点から～
- P252 牛山朋来・城岡竜一(観測フロンティア)他 8 名 PALAU2002 の航空機とレーダーによって捉えられたライン状降水雲の数値実験 その 2:降水雲の成因につて
- P253 下瀬健一・川野哲也(九大院理) 2002 年 10 月 6 日に鹿児島県加世田市で発生した竜巻の数値シミュレーション
- P254 高橋千陽・上田博(名大地球水循環)他 1 名 オーストラリア大陸北部で発生した降水システムの発達過程と非断熱加熱との関係
- P255 森真理子(高層気象台) 2003 年 10 月 13 日成田・鹿島で発生したダウンバーストを伴う雷雲の事例解析- 15 時のレーウィンデータとレーダーエコーの時間変化から-
- P256 菅原広史(防大)・笠松扶美(東工大)他 4 名 リモートセンサによる顕熱フラックス測定を試み
- P257 菅谷真子・中西幹郎(防大地球) 夏季関東平野における GMS 雲画像で見る地上風系と午後の降水との関係
- P258 清原康友・荻野慎也(神戸大自然)他 1 名 六甲おろしに関する下部対流圏の観測と数値シミュレーション
- P259 松元三展・菅原広史(防大地球)他 2 名 航空機搭載シーロメータによる冬季関東での局域前線の観測
- P260 鈴木智恵子・中屋耕(電中研)他 3 名 森林上における領域平均ゼロ面変位の特徴
- P261 篠田太郎・樋口篤志(名大地球水循環)他 3 名 エアロゾンで観測された亜熱帯高気圧下での大気境界層の構造
- P262 西山浩司・神野健二(九大院工)他 1 名 領域規模に依存する梅雨期の雨量と支配変数との対応関係
- P263 吉村裕正(気象研)・松村崇行(気象庁数値予報) 2 タイムレベルセミラグランジュ法の開発(2)
- P264 Chan-Su Ryu・Soon-Hwan Lee(Chosun Univ.) 高層観測資料の増加が気象予測精度に及ぼす影響
- P265 森脇亮・木本由花(東京工大)他 1 名 都市キャンポ内外における乱流統計量プロファイル
- P266 安藤晴夫・森島清(東京都環境研)他 6 名 2003 年 9 月 3 日の雷雨時における都内の気象現況について
- P267 別所康太郎(気象研)・Mark De Maria (NOAA/NESDIS)他 2 名 改良型マイクロ波探査計を用いた台風域内における海上風の導出
- P268 中澤哲夫(気象研)・経田正幸(気象庁数値予報)他 1 名 週間アンサンブル予報に見る台風の発生 ～ T0313 号の事例解析～
- P269 手柴充博(京大宙空電波)・筆保弘徳(防災科研)他 5 名 気象庁 WINDAS 観測に基づく台風に伴う降水帯周辺での風速変動
- P270 山本真之(京大宙空電波)・西憲敬(京大理)他 3 名 赤道大気レーダーにおける鉛直流観測手法の改善
- P271 寺尾徹(大阪学院大情報)・林泰一(京大防災研)他 1 名 バングラデシュ周辺における各種降水量推定値の検証
- P272 佐々木宏・岡本謙一(大阪府立大)他 1 名 衛星観測データでみた 2002 - 03 年エルニーニョ現象
- P273 駒崎雄一・近藤豊(東大先端研)他 5 名 冬季都市大気中における微小粒子および不揮発性微小粒子の粒径別数濃度
- P274 齋藤尚子・中島英彰(環境研)他 3 名 ILAS-II エアロゾル消散係数データ質評価
- P275 渡辺幸一・春日央司(富山県立大短大部)他 1 名 富山県におけるエアロゾル粒子の粒径別個数濃度および化学成分
- P276 風岡亮・木田秀次(京大院理) 日本付近に到達する空気塊流跡線の季節変化
- P277 田中泰宙・千葉長(気象研) 数値シミュレーションを用いた東アジアのダストエアロゾル発生量の季節変動の研究
- P278 眞木貴史(気象庁環境気象)・海老田綾貴(気象庁管理課)他 3 名 長期再解析(JRA-25)用オゾン 3 次元日別値の作成について
- P279 林ひとみ・北和之(茨城大理)他 5 名 SHADOZ オゾンゾンデータに基づく熱帯域の対流圏オゾン増大現象の出現傾向とその成因
- P280 須藤健悟・秋元肇(地球フロンティア)他 1 名 植物人為起源メタノールの対流圏オゾン・OH ラジカル濃度場への影響
- P281 森武史(東北大院理)・川村賢二(ベルン大)他 4 名 グリーンランド NGRIP および南極ドームふじ深層氷床コア分析による過去 11 万年にわたるメタン濃度の変動とその要因の推定
- P282 石島健太郎・中澤高清(東北大院理)他 6 名 日本・西シベリア上空および太平洋上における  $\text{NaO}$  濃度の変動
- P283 田口彰一(産総研) 大気輸送の年々変動が二酸化炭素収支の逆問題解に及ぼす影響

## 大会第3日〔5月18日〕09:30～12:00 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

## A会場

## 降水システムIII

座長：青梨和正(気象研)

- A301 青梨和正・小司禎教(気象研)他 若狭湾特別観測(WAKASA2003)の固体降水の構造と雲物理量の特徴(その3)
- A302 高橋暢宏(情報通信研究機構)・清水収司(JAXA/EORC)他1名 雨滴粒径分布のマイクロ波放射計輝度温度へ与える影響の評価
- A303 伊藤文・酒井敏(京大人環)他1名 赤外線放射温度計による雲底温度測定～快晴時モデルによる水蒸気補正～
- A304 梅谷和弘・酒井敏(京大人環) 微気圧計の設計と微気圧観測

## 観測手法

座長：青梨和正(気象研)

- A305 青梨和正(気象研)・柴田彰(JAXA/EORC)他1名 衛星搭載マイクロ波放射計 AMSRE 降水強度リトリバルアルゴリズムの開発(その1)
- A306 久慈誠(奈良女子大理)・内山明博(気象研) 人工衛星近赤外放射観測データを用いた積算水蒸気量の推定
- A307 峯松宏明・三田昭吉(気象大) 静止気象衛星データから得られた地表面温度の特徴
- A308 高山陽三(気象研) マイクロ波放射計による気温プロファイルの観測
- A309 高山陽三(気象研) 降水粒子計によるレーダー降雨観測の解析
- A310 岡本創・西澤智明(東北大院理)他9名 観測船「みらい」MR01/K02 期間における雲レーダとライダーによる雲解析
- A311 西澤智明・岡本創(東北大院理)他4名 2波長偏光ライダーデータを用いたエアロゾル導出アルゴリズムの開発(II)
- A312 小野塚裕也・遠峰菊郎(防大地球)他3名 熱気球を用いた大気境界層観測の可能性について

## B会場

## 気候システムIII

座長：渡部雅浩(北大院地球環境)

- B301 立花義裕(東海大/地球フロンティア)・小木雅世(北大地球環境)他1名 2003年夏季の異常気象と夏季北半球環状モードとの関連
- B302 小木雅世(北大地球環境)・山崎孝治(北大地球環境/地球フロンティア)他1名 夏季北半球環状モードの維持過程について
- B303 中村哲(東海大)・立花義裕(東海大/地球フロンティア)他2名 北半球環状モードの季節間持続性に対する北半球の積雪の影響
- B304 太島和裕・山崎孝治(北大院地球環境) 水蒸気輸送と環状モードの関係
- B305 畠田友二・小寺邦彦(気象研) 太陽活動による南半球環状モードの変調
- B306 渡部雅浩(北大院地球環境) アジアジェット導波管とNAOの下流への伸張(続)
- B307 田中博(筑波大地球科学/IARC/FRSGC)・神田貴博(筑波大自然) 大気大循環に観る  $E=mc^2$  の法則
- B308 川村隆一(富山大理)・R.Suppiah(CSIRO)他2名 CSIRO 気候モデルで再現された ENSO-モンスーン結合
- B309 坂本天(地球フロンティア)・住明正(東大気候システム)他5名 高分解能大気海洋結合モデルによるハワイ諸島西方に特有な大気海洋相互作用現象の再現
- B310 見延庄士郎(北大院理/地球フロンティア)・Fei-fei Jin(ハワイ大) 遅延振動子における2種類の非線形同期
- B311 村上茂教・鬼頭昭雄(気象研) 大西洋の淡水収支と熱塩循環の循環様式

## 大会第3日 [5月18日] 09:30 ~ 12:00 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

## C会場

## 熱帯大気I

座長：高藪 緑(東大気候システム)

- C301 関瀬博文(なし) リンクするエルニーニョとマヨンの噴火～ミンダナオドームの解明～
- C302 小林ちあき・高野清治(気象庁気候情報)他3名 夏季西部太平洋熱帯域における降水量予報一季節予報予測可能性に対する SST のインパクト
- C303 中村卓也・木本昌秀(東大気候システム)他1名 高解像度大気大循環モデルで再現されたモンスーン域の季節内変動
- C304 Rosbintarti Kartika Lestari・Toshiki Iwasaki(東北大院理) Role of SST in the Seasonal March of the South Asian Monsoon
- C305 箕保弘徳・飯塚聡(防災科研)他2名 インドシナ半島におけるモンスーン後退期の降雨特性
- C306 V.S.Prasad・Taiichi Hayashi(京大防災研)他1名 The Onset and the Evolution Characteristics of Asian Summer Monsoon
- C307 高藪緑(東大気候システム) TRMM PR と TMI データを用いた熱帯域の背の高い降雨と海面水温との関係についての解析
- C308 森田純太郎・高藪緑(東大気候システム) TRMM 衛星データを用いた Madden-Julian 振動に伴う降水特性の解析
- C309 清木亜矢子・高藪緑(東大気候システム) 順圧エネルギー変換に対する MJO の効果と西風バーストとの関係
- C310 辻野文剛・山本真之(京大宙空電波)他6名 赤道大気レーダーによるスマトラ島雨季における対流活動の観測
- C311 村田文絵(京大防災研)・山中大学(神戸大自然/FORSGC)他7名 インドネシアにおける対流性降水雲に関する研究(第11報)

## D会場

## 物質循環II

座長：村山昌平(産総研)

- D301 村山昌平・山本晋(産総研)他3名 冷温帯落葉広葉樹林における長期観測から得られた大気中 CO<sub>2</sub> 濃度の年々変動
- D302 町田敏暢(環境研)・渡井智則(地球人間環境フォーラム)他3名 西シベリア・ベレゾレチカにおける大気境界層内とその上空の CO<sub>2</sub> 濃度-航空機観測とタワー観測の比較(1)-
- D303 福田真人・近藤豊(東大先端研)他4名 都市域における窒素酸化物の挙動に関する研究
- D304 太島長・小池真(東大理)他9名 春季西太平洋域で観測された自由対流圏中での人為起源物質の増大(その3) PEACE-B 航空機観測
- D305 北和之・佐藤弘樹(茨城大)他8名 タイ春季におけるオゾン高度分布観測(2):中上部対流圏のオゾン増大要因
- D306 谷本浩志・向井人史(環境研) アジアにおける対流圏オゾン測定国際相互比較実験
- D307 水野亮・長浜智生(名大STE研)他5名 地上ミリ波放射計による成層圏・中間圏の水蒸気観測- H<sub>2</sub><sup>18</sup>O 観測結果と H<sub>2</sub>O, H<sub>2</sub><sup>18</sup>O 同時観測計画-
- D308 中島英彰・寺尾有希夫(環境研)他4名 ILAS-II による 2003 年南極オゾンホール観測
- D309 忠鉢繁(気象研)・宮川幸治(高層気象台)他1名 2001 年 2 月 14 日にヨーロッパ上空に出現したオゾンミニホールについて
- D310 秋吉英治・L.B.Zhou(環境研) 北半球中高緯度下部成層圏における N<sub>2</sub>O 濃度分布の年々変動と、北極渦崩壊時期、子午面循環、水平渦拡散係数との関係
- D311 宮崎和彦・岩崎俊樹(東北大院理)他1名 等温位面の帯状平均に基づく子午面輸送方程式による対流圏・成層圏オゾン輸送特性の解析

## 大会第3日〔5月18日〕12:00～13:00 ポスターセッション

(~~~~は講演者を表す)

- P301 河合隆繁(日大院地球情報) 東海～南関東沿岸における冬季季節風と気温の関係
- P302 氏家将志・岩崎俊樹(東北大院理)他2名 局地気候モデルを用いた2003年7月の天候の再現実験
- P303 井上知榮・松本淳(東大理) 近年の東アジア夏期季節進行にみられる数十年規模変動
- P304 財城真寿美(東京都立大)・塚原東吾(神戸大)他2名 日本における19世紀気象観測記録の補正均質化とその気候変動研究への応用
- P305 井上賀聖(筑波大院)・井上豊志郎(気象研)他1名 Split Window データを用いたベンガル湾における雲型判別
- P306 太田明宏・児玉安正(弘前大理工) 熱帯モンスーン域における降水特性の季節変化
- P307 永野良紀(日大院) 熱帯成層圏東西風と対流圏上層の大気循環との関係 - 1993年と2003年の比較を中心として -
- P308 山本健太郎(東海大)・立花義裕(東海大/地球フロンティア)他2名 NAOのフェーズシフトをもたらす北半球海水シーズン(その2)
- P309 岩崎博之・新居知巳(群馬大教育) モンゴルにおける気象要素の年々変動と植生指標の年々変動の関係
- P310 岩崎博之・新居知巳(群馬大教育) モンゴルにおける「雨期の中休み」について
- P311 甲斐千尋・山内明子(東洋大院生命)他1名 エルニーニョと局所的フラクタル次元との関係について
- P312 原智宏・大場良二(三菱重工長崎)他1名 気象・拡散モデル RAMS/HYPACT によるマイクロスケールの拡散シミュレーション
- P313 高橋清利(気象研)・JRA-25 実施グループ JRA-25 長期再解析出力プロダクトの概要
- P314 坂本雅巳・古林慎哉(気象庁気候情報)他3名 長期再解析計画 JRA-25 TOVS データ同化
- P315 坂野井和代・村山泰啓(情報通信研究機構)他3名 アラスカでのライダー・レーダー観測による中間圏擾乱・大気波動と成層圏突然昇温の関連
- P316 矢萩智裕・村田功(東北大院理)他3名 三次元流跡線を用いた等価緯度-温位面上の風系と循環の解析 その3
- P317 津村知彦・山崎孝治(北大院地球環境) 日本周辺で発達する温帯低気圧の Life Cycle - 前線形成の視点から見た事例解析 -
- P318 渡来靖(筑波大地球科学)・田中博(筑波大地球科学/IARC/FRSGC) ブロッキング形成時の順圧運動エネルギー収支
- P319 中島健介・中野満寿男(九大理)他1名 熱対流に伴う気圧変動の完全圧縮モデルによる数値計算
- P320 塩川和夫・小川忠彦(名大 STE 研)他1名 低気圧の接近に伴って観測された中間圏界面付近の大振幅重力波
- P321 小坂洋介(東大院理)・松田佳久(東京学芸大) PJ パターンにおける順圧擾乱の生成
- P322 小峯賢治・高橋桂子(地球シミュレータ)他1名 陰陽格子法を用いた全球・非静力学大気シミュレーションコードの開発
- P323 吉野純・石川裕彦(京大防災研)他1名 台風9918号の温帯低気圧化時における上層・下層の渦位偏差間の相互作用に関する研究
- P324 佐竹晋輔(九大院総理工)・鶴野伊津志(九大応力研)他3名 エアロゾルの大気放射過程を含む領域型化学物質輸送モデルのアジア域への応用
- P325 岩淵弘信(地球フロンティア) モンテカルロ法を用いた三次元放射伝達モデルの開発と性能評価
- P326 関口美保・中島映至(東大気候システム) 新放射コードの開発その2 - 気体吸収過程の変更による精度の検証
- P327 戸川裕樹・内山明博(気象研)他2名 つくば・宮古島におけるエアロゾルの光学特性観測
- P328 浜田崇(長野県自然保護研)・柳原保志(信州大) 自然通風筒を利用した気温測定精度
- P329 島村雄一・泉岳樹(都立大)他1名 衛星同期観測に基づく広域積雪分布と山地積雪水資源量のリモートセンシング - 新潟県上越国境周辺を事例に -
- P330 青木豊彦(東大阪宇宙開発協同組合)・河崎善一郎(大阪大院)他4名 汎用小型衛星 PETSAT からの雷観測
- P331 秋元文江・中村健治(名大地球水循環) 降雨頂温度、対流性/層状性に基づく TRMM PR と TMI の降水推定の比較研究
- P332 重尚一・清水収司(JAXA/EORC)他4名 TRMM 搭載マイクロ波放射計と降雨レーダーを用いた雨滴粒径分布の物理的整合性チェック
- P333 佐藤可織・岡本創(東北大院理) 95GHz 雲レーダに対する氷粒子の密度低下の影響評価
- P334 井村真樹・古本淳一(京大宙空電波)他3名 VHF・UHF 帯大気レーダー複合観測による水蒸気推定法の開発
- P335 橋口浩之・深尾昌一郎(京大宙空電波) 船舶搭載型下部対流圏レーダー(SB-LTR)の開発による赤道西太平洋域大気運動の観測
- P336 石井昌憲・水谷耕平(情報通信研究機構)他4名 2軸走査方式による大気風観測用コヒーレントドップラーライダーの開発
- P337 杉本尚悠・中村卓司(京大宙空電波)他4名 対流圏下部水蒸気観測用可搬型ライダーの開発
- P338 淡野敏・青山雄一(京大宙空電波)他2名 富士山におけるダウンルッキング GPS 掩蔽観測
- P339 山口隆子・横山仁(東京都環境研)他4名 日本における百葉箱の歴史と現状について
- P340 坂梨貴将・柳野健(気象大) 積雲対流の解析とシミュレーション 2003年10月13日、成田、鹿嶋に突風被害をもたらした低気圧
- P341 清水崇博(日大院地球情報) 富士山笠雲の発生時における大気成層の季節的特徴
- P342 堀江祐圭・泉岳樹(都立大)他2名 温度場から推測する温冷感とその要因・構造に関する研究
- P343 久保田拓志(京大防災研)・寺尾徹(大阪学院大)他1名 熱帯対流圏温度偏差の変動と ENSO のずれの要因について



- P344 植松明久・橋口浩之(京大宙空電波)他 5 名 ミリ波ドップラーレーダーによる釧路における霧の観測
- P345 鈴木賀美・道本光一郎(防衛庁)他 2 名 スプライトをともなった冬季雷雲のエコー構造
- P346 藤沢仰(富山大理工学)・川村隆一(富山大理) 北陸地域における近年の冬季雷の傾向と落雷発生環境
- P347 飯田泰久・岡本謙一(大阪府立大院)他 2 名 現在運用中の衛星群 6 機からの降雨観測シミュレーションによるサンプリング誤差の推定とモデリング
- P348 西垣語人(気象庁数値予報) フラクタル次元を考慮したエントレイメント安定指数 ESI による発雷予測の検証 2
- P349 佐々木聰・播磨屋敏生(北大院理)他 7 名 立坑を用いた雲物理実験装置内で発生した雲の微物理過程(その 7) - エアロゾルと雲粒の数濃度の対応
- P350 野村真奈美・上田博(名大地球水循環)他 4 名 梅雨前線に伴う沖縄島を通過した線状降水システムの構造の変化(II) - 沖縄島通過前のシステムの気流構造について -
- P351 中里真久・石部勝(気象研)他 5 名 激しい気象現象の診断アルゴリズムの開発 - レーダー反射強度から算出されるパラメータを用いた事例解析 -
- P352 米田次郎・石川裕彦(京大防災研) 梅雨期における九州地方の局地的豪雨の発生に関する研究
- P353 南雲信宏(北大院地球環境)・藤吉康志(北大低温研) 2D-Video-Distrometer を用いた雲の観測
- P354 久田由紀子・松永信博(九大総理工)他 1 名 福岡都市圏に形成されるヒートアイランド構造と天気による相異
- P355 長谷川忍(三豊中)・森征洋(香川大教育) 香川県における海陸風と気圧場との関係について
- P356 岡野雅映(埼玉大教育)・山本哲(気象研)他 1 名 鉄塔の気象データの解析
- P357 山下和也(北大院地球環境)・藤吉康志(北大低温研) 三次元ドップラーライダーによる晴天積雲の形成過程の観測
- P358 弓本桂也・吉田保衡(九大院総合理工)他 3 名 野間峠を対象にした RAMS の 50m メッシュの風況シミュレーション
- P359 下山宏・町田敏暢(環境研)他 5 名 航空機を用いた分散法による CO<sub>2</sub> フラックス評価の試み
- P360 安藤晴夫(東京都環境科学研)・柏木宜久(統計数理研)他 3 名 東京湾の水温分布の変動傾向について
- P361 青木忠生(気象研) 多波長時代における衛星サウンダーデータの処理手法
- P362 今泉孝男・佐藤芳昭(気象庁)他 1 名 マイクロ波散乱計データから算出した海上風のメソ解析における利用
- P363 柴田のり子・大久保篤(東京管区気象台) 2003 年 10 月 13 日茨城県・千葉県でダウンバーストによる被害をもたらした低気圧の解析 - 突風のナウキャストに向けて -
- P364 山本勝・金田充代(和歌山大) 和歌山県周辺の江戸時代における降水頻度と生物季節の異常について
- P365 高橋昌也・久田由紀子(九大総理工)他 1 名 福岡における海風の形成機構について
- P366 北島尚子(気象研) 温帯低気圧化末期の台風 0221 号の構造(2)
- P367 藤田造史・手柴充博(京大宙空電波)他 5 名 WINDAS データを用いた台風 0310 号(Etau)の温低化に関する研究
- P368 星野俊介・中澤哲夫(気象研) マイクロ波センサーのデータを用いた台風の強度推定法についての研究(第 2 報)
- P369 宮崎保彦(気象衛星センター) 熱帯低気圧発生と Upper Cold Low(1)
- P370 安永教明(AESTO)・城岡竜一(観測フロンティア)他 2 名 熱帯域における雲底の高度分布に関する研究
- P371 Tri Handoko Seto (BPPT-Indonesia)・Masayuki K. Yamamoto (京大宙空電波)他 2 名 Convection correlated ISV over Sumatera Indonesia A case study when ISV disappears near Sumatera
- P372 直江寛明・岡田菊夫(気象研) 都市大気中におけるサブミクロンエアロゾル粒子の揮発特性
- P373 永田和彦・赤木万哲(気象庁環境気象)他 5 名 直達日射量から推定した国内におけるエアロゾルの光学的厚さ
- P374 堤之智・大野智生(気象庁環境気象)他 1 名 1998 年から 2002 年までの日本上空のエアロゾル光学特性の推移
- P375 岡田菊夫(気象研)・Qin Yu(北京大)他 1 名 フホホトにおける大気鉱物粒子の変質について
- P376 新添多聞(京大防災研)・木田秀次(京大院理) 冬期ユーラシア上空における硫酸化物の長距離輸送
- P377 鶴野伊津志(九大応力研)・原田和博(九大総理工) タリム盆地周辺の局地気流とダスト輸送のモデル解析
- P378 野口克行・今村剛(ISAS/JAXA)他 6 名 成層圏オゾンの鉛直微細構造の時空間分布と起源
- P379 出生真・柴田清孝(気象研) 気象研究所化学輸送モデルにおける熱帯下部成層圏オゾン場の精度向上について
- P380 中野智子(都立大理)・竹内渉(東大生産研) 現地観測と衛星画像解析に基づく森林火災後の地表面メタンフラックス推定
- P381 高橋けんし・西田哲(名大 STE 研)他 3 名 成層圏 NO の生成効率に関する新しい知見: O(<sup>1</sup>D)+N<sub>2</sub>O 反応の生成物分岐比
- P382 近藤裕昭(産総研)・下山宏(環境研)他 5 名 冬季札幌からの CO<sub>2</sub> 放出量の推定
- P383 三宅里香(神戸大自然)・山中大学(神戸大自然/FORSGC) 六甲山の気象～日周期の季節変化～

## 大会第4日 [5月19日] 09:30 ~ 12:00 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

## B会場

## 気候システムIV

座長：松浦知徳(防災科研)

- B401 望月崇・栗原宜夫(地球フロンティア)他2名 大気大循環モデルにおけるガストの影響を考慮したバルク風速の計算
- B402 江守正多(地球フロンティア)・長谷川聡(東大気候システム) CCSR/NIES/FRSGC T106 AGCMにおける日降水強度の再現性と積雲対流抑制条件のインパクト
- B403 吉村純(地球フロンティア)・大内和良(AESTO/気象研)他20km格子全球大気モデルによる台風シミュレーション-発生頻度・強度などの気候学的性質の再現について-
- B404 松浦知徳・藤田貢崇(防災科研)他2名 T213大気海洋結合モデルによる長期台風シミュレーションの特性
- B405 安永数明(AESTO)・加藤輝之(気象研)他8名 高分解能非静力学モデルによる領域気候予測:スペクトル境界(SBC)法を導入した場合の長期積分時における性能評価
- B406 橋本明弘・安永数明(AESTO)他8名 高分解能非静力学モデルによる領域気候予測:長期再現実験に対する雲物理過程の影響(I)
- B407 横昌司・松丸圭一(気象研)他3名 大気大循環モデルによる過去130年間の気候再現実験
- B408 野沢徹・永島達也(環境研)他 大気海洋結合モデルを用いた20世紀の気候再現実験
- B409 長谷川聡(東大気候システム)・江守正多(地球フロンティア) CCSR/NIES/FRSGC T106 AGCMによるCO2 倍増実験における熱帯低気圧が強い降水に与える影響
- B410 足立恭将・保坂征宏(気象研)他3名 温暖化に伴う降水特性の変化
- B411 野沢徹・横島徳太(環境研) 温暖化に伴う対流性および非対流性降水の変化
- B412 横島徳太・小倉知夫(環境研)他1名 地球温暖化における地表気温上昇率と氷-雲アルベドフィードバック
- B413 小畑澁・行本誠史(気象研)他2名 炭素循環気候モデルによる温暖化予測
- B414 清水保・長谷部正彦(宇都宮大)他3名 地球規模で見たCO<sub>2</sub>濃度の長周期変動と太陽活動の相互関係

## C会場

## 熱帯大気II

座長：庭野将徳(京大理)

- C401 江口菜穂(北大院地球環境)・塩谷雅人(京大宙空電波) 熱帯対流圏界面付近における水蒸気の季節内振動
- C402 古本淳二・岩井聡(京大宙空電波)他2名 EAR・RASSによる赤道域の水蒸気微細構造の観測
- C403 庭野将徳(京大理)・山本真之(京大宙空電波)他2名 赤道100°-105°Eにおける対流活動の約5日変動とその上部対流圏に及ぼす影響
- C404 鏡本順子・塩谷雅人(京大宙空電波) ERA-40データを用いた赤道対流圏界面付近にみられるケルビン波と季節内振動活動度の時空間分布
- C405 高島久洋・塩谷雅人(京大宙空電波) オゾンゾンデデータを用いた熱帯対流圏界面遷移層のオゾン分布に関する研究
- C406 辻宏一郎・高橋正明(東大気候システム)他1名 AGCMで再現された熱帯域重力波の励起について
- C407 鏡本恒明・江守正多(地球フロンティア)他2名 CCSR/NIES/FRSGC AGCMで再現される対流と結合した赤道波の解析
- C408 野村光巻・坪木和久(名大地球水循環) 近接する2本のスパイラルバンドにおける降水強化
- C409 板野稔久・田中真也(防大地球)他1名 台風Bartの蛇行現象
- C410 味崎利光・板野稔久(防大地球)他1名 衛星データを用いたT0116号の時空間スペクトル解析
- C411 横木研・村田文絵(京大防災研)他2名 2003年9月11日に宮古島を通過した台風0314号の気候学的特徴
- C412 池田泰論・伊藤久徳(九大理) 冬における台風発生の数値シミュレーション [その3]

座長：板野稔久(防大地球)

## 大会第4日〔5月19日〕09:30～12:00 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

### D会場

#### 大気境界層

座長：菅原広史(防大)

- D401 桑形恒男(農環研)・濱寄孝弘(北海道農研) 日平均の地表面熱収支計算におけるバルク輸送係数に関する検討
- D402 川島茂人・井上聡(農環研)他2名 地上気温分布は地表面状態でどの程度説明できるか?水田のもつ気候緩和機能の評価
- D403 川崎泰二(名工大)・大和田道雄(愛知教育大) 都市内における緑地配置の都市循環モデル評価の検討
- D404 近藤裕昭・大橋唯太(産総研)他3名 On-line モデルによる休日の都市キャノピー気象の数値実験
- D405 菅原広史(防大)・成田健一(日本工業大)他 都市内緑地周辺における冷気の挙動
- D406 大澤輝夫・安田孝志(岐阜大院工)他 MM5 の各大気境界層スキームによる風速計算精度の比較・検討(海上)
- D407 橋本篤・大澤輝夫(岐阜大院工)他3名 MM5 の各大気境界層スキームによる風速計算精度の比較・検討(陸上)

#### 気象予報II

座長：福田和代(AESTO)

- D408 山崎陽介(AESTO)・斉藤和雄(気象庁数値予報) 広領域/全球 NHM の開発—気象庁全球解析からのネスト—
- D409 村上裕之(AESTO)・松村崇行(気象庁数値予報) 高分解能気候モデルのための初期値化手法の改良
- D410 彭新東・高橋桂子(地球シミュレータ)他1名 Yin-Yang グリッドにおける全球保存処理
- D411 福田和代(AESTO)・大和田浩美(気象庁数値予報) 他2名 HIRS 輝度温度を用いたモデル評価手法の開発
- D412 大和田道雄(愛知教育大)・畔柳洋子(名大院)他1名 100hPa 面における亜熱帯高圧帯のイランモードとヨーロッパの異常気象について
- D413 庭野匡思・榊原均(気象大) 急発達する低気圧の構造変化過程

## 大会第 4 日 [5 月 19 日] 13:00 ~ 16:30 専門分科会

(~~~~は講演者を表す)

## C 会場

## 「ストームトラックの力学」

趣旨説明：中村 尚(東大理/地球フロンティア)

座長：中村 尚(東大理/地球フロンティア)

- \*\*C451 高藪出(気象研) ストームトラックに係わる理論的研究(+理想化されたモデル研究)について
- \*C452 榎本剛(地球フロンティア) スペイン沖でタンカー事故をもたらした小低気圧の急発達
- \*C453 吉田駿・遊馬芳雄(北大院理) 北西太平洋域で発達した爆弾低気圧の数値実験と流跡線解析
- \*\*C454 岩崎俊樹・宇野幸代(東北大院理) 波動平均流相互作用に基づく波動エネルギーの生成について
- \*\*\*C455 渡部雅浩(北大院地球環境) 傾圧大気の平衡状態について:baroclinic adjustment 再考
- \*\*\*C456 荒井美紀(東大気候システム)・向川均(京大防災研)他 1 名 ブロッキング現象におけるストームトラックの役割
- \*\*\*C457 森正人・渡部雅浩(北大院地球環境) ストームトラックのフィードバックを含む傾圧特異モード計算
- \*\*C458 塩竈秀夫・向川均(京大防災研) 北半球環状モード成層圏-対流圏結合過程の ENSO サイクルへの依存性
- \*\*C459 日尾泰子(京大理) 南半球成層圏の年々変動とその対流圏波活動との関係
- \*\*\*C460 向川均(京大防災研)・稲津将(北大院地球環境)他 3 名 ストームトラックに伴う圏界面高度変動に関する考察

座長：高藪 出(気象研)

- \*\*\*C461 中村尚(東大理/地球フロンティア)・三瓶岳昭(東大理)他 4 名 中緯度のストームトラック,偏西風,海洋フロントの相互関係
- \*\*\*C462 稲津将(北大院地球環境)・Brain J.Hoskins(英国 Reading 大学) 南半球冬季のストームトラックの東西非対称性の形成
- \*\*\*C463 謝尚平(ハワイ大学)・野中正見(地球フロンティア)他 3 名 海洋フロントと大気との相互作用
- \*\*\*C464 谷本陽二(地球フロンティア/北大院地球環境)・中村尚(地球フロンティア/東大理)他 3 名 中緯度の海面水温の長期変動が下層大気に与える影響-最近の観測的研究から-
- \*\*\*C465 三瓶岳昭・中村尚(東大理)他 2 名 亜熱帯ジェットと中緯度 SST 勾配がストームトラック活動に与える影響

持ち時間：\*9分，\*\*12分，\*\*\*15分

## 大会第4日〔5月19日〕13:00～16:30 専門分科会

(~~~~は講演者を表す)

### D会場

## 「海洋地球研究船『みらい』における大気観測—これまでの成果と今後の展望」

座長：米山邦夫 (JAMSTEC)

#### 概要

- \*D451 米山邦夫・勝俣昌己(JAMSTEC) 海洋地球研究船「みらい」における大気観測研究の現状  
 D452 末吉惣一郎・奥村智(グローバルオーシャン)他7名 「みらい」における気象観測について

#### 熱帯観測

- D453 勝俣昌己・米山邦夫(JAMSTEC) 「みらい」暖水プール域定点観測で得られた降水雲の特徴について  
 D454 城岡寛二・久保田尚之(観測フロンティア)他6名 西部熱帯太平洋域における対流活動と水蒸気変動  
 D455 竹見哲也(大阪大) 熱帯スコールラインの発達・組織化に及ぼす湿度プロファイルの影響  
 D456 横森淳二・高菰縁(東大気候システム) 高層ゾンデデータ解析による熱帯大気の0℃レベル安定層が対流に及ぼす効果についての研究

#### 休憩 (10分)

座長：藤吉康志 (北大低温研/地球フロンティア)

#### 北極観測

- \*D457 藤吉康志(北大低温研/地球フロンティア)・吉田一穂(北大院地球環境)他2名 北極域の雲科学(5)—熱収支と降水システム—

#### プラットフォームとしての役割

- \*D458 塚本修・高橋聡司(岡山大)他1名 「みらい」を用いた熱エネルギー・水蒸気・CO<sub>2</sub>海面乱流フラックスの直接測定  
 \*D459 杉本伸夫・松井一郎(環境研)他1名 「みらい」搭載ライダーによる海洋上の雲、エアロゾルの観測  
 D460 松井一郎・杉本伸夫(環境研)他3名 ミー散乱ライダーによる熱帯海洋上での大気境界層高度と遷移層厚さの観測(II)  
 D461 太野裕一・亀井秋秀(情報通信研究機構)他5名 「みらい」航海中に雲レーダで観測された雲構造の緯度変化  
 D462 濱田篤・西憲敬(京大院理)他8名 ミリ波雲レーダを用いた GMS split-window 雲種判別テーブルの開発

座長：米山邦夫 (JAMSTEC)

#### 総合討論 (15分)

「みらい」への要望等

持ち時間：13分。ただし\*のついた講演は20分。

## 講演者索引

## &lt;A&gt;

Adachi Ahoro(足立アホロ) P147  
 Adachi Toru(足立透) P144  
 Adachi Yukimasa(足立恭将) B410  
 Aiki Hidenori(相木秀則) C212  
 Akagi Kazuaki(赤木万哲) P373  
 Akimoto Fumie(秋元文江) P331  
 Akiyoshi Hideharu(秋吉英治) D310  
 Amino Naoko(網野尚子) P211  
 Ando Haruo(安藤晴夫) P266  
 Ando Haruo(安藤晴夫) P360  
 Aoki Tadao(青木忠生) P361  
 Aoki Teruo(青木輝夫) D201  
 Aonashi Kazumasa(青梨和正) A301  
 Aonashi Kazumasa(青梨和正) A305  
 Arai Miki(荒井美紀) C456  
 Araki Kosuke(荒木孝輔) P150  
 Araki Ryuzo(荒木龍蔵) P170  
 Aranami Kohei(荒波恒平) C105  
 Arao Kimio(荒生公雄) P174  
 Arisawa Yuzo(有沢雄三) P128

## &lt;B&gt;

Baba Kenji(馬場賢治) P201  
 Bessho Kotaro(別所康太郎) P267

## &lt;C&gt;

Chikira Minoru(千喜良稔) P205  
 Chubachi Shigeru(忠鉢繁) D309

## &lt;D&gt;

Dairaku Koji(大楽浩司) P106  
 Dan-no Satoshi(淡野敏) P338  
 Deushi Makoto(出牛真) P379

## &lt;E&gt;

Eguchi Nawo(江口菜穂) C401  
 Eito Hisaki(永戸久喜) A107  
 Ejiri Mitsumu(江尻省) P181  
 Emori Seita(江守正多) B402  
 Endo Hirokazu(遠藤洋和) P210  
 Endo Nobuhiko(遠藤伸彦) P202  
 Enomoto Takeshi(榎本剛) C452

## &lt;F&gt;

Findy Renggon P234  
 Fudeyasu Hironori(筆保弘徳) C305  
 Fujibe Fumiaki(藤部文昭) B208  
 Fujieda Tsuyoshi(藤枝鋼) P225  
 Fujisawa Gyo(藤沢仰) P346  
 Fujita Hiroshi(藤田浩史) P367  
 Fujita Tsukasa(藤田司) C101  
 Fujiyoshi Yasushi(藤吉康志) D457

Fukabori Masashi(深堀正志) P224  
 Fukao Kazuhito(深尾一仁) C106  
 Fukuda Kazuyo(福田和代) D411  
 Fukuda Masato(福田真人) D303  
 Furumoto Jun-ichi(古本淳一) C402  
 Furumoto Jun-ichi(古本淳一) P239  
 Fushimi Katsuhiko(伏見克彦) P179

## &lt;G&gt;

Gamo Minoru(蒲生稔) P110

## &lt;H&gt;

Hamada Atsushi(濱田篤) D462  
 Hamada Junichi(浜田純一) P108  
 Hamada Takashi(浜田崇) P154  
 Hamada Takashi(浜田崇) P328  
 Hanado Hiroshi(花土弘) P249  
 Hara Tomohiro(原智宏) P312  
 Haris Syahbuddin B107  
 Hasegawa Akira(長谷川聡) B409  
 Hashiguchi Hiroyuki(橋口浩之) P335  
 Hashimoto Akihiro(橋本明弘) A104  
 Hashimoto Akihiro(橋本明弘) B406  
 Hashimoto Atsushi(橋本篤) D407  
 Hatsushika Hiroaki(初鹿宏壮) B103  
 Hattori Keizo(服部桂三) B205  
 Hayasaki Masamitsu(早崎将光) P207  
 Hayashi Hitomi(林ひとみ) P279  
 Higuchi Arisa(樋口阿里沙) C201  
 Hio Yasuko(日尾泰子) C459  
 Hiramatsu Kazuhiko(平松和彦) P138  
 Hisada Yukiko(久田由紀子) P354  
 Horie Yuka(堀江祐圭) P342  
 Hoshino Shunsuke(星野俊介) P368  
 Hozumi Yu(穂積祐) P123

## &lt;I&gt;

Ichikawa Hiroki(市川裕樹) P243  
 Iga Shinichi(伊賀晋一) P118  
 Igarashi Hiromichi(五十嵐弘道) P208  
 Iguchi Toshio(井口俊夫) P129  
 Iguchi Toshio(井口俊夫) P247  
 Iida Yoshihisa(飯田泰久) P347  
 Ikeda Kenichi(池田健一) P245  
 Imaizumi Takao(今泉孝男) P362  
 Imamura Takeshi(今村剛) C207  
 Imura Shingo(井村真悟) P334  
 Inatsu Masaru(稲津将) C462  
 Inatsu Masaru(稲津将) P119  
 Inoue Tomoshige(井上知栄) P303  
 Inoue Tomotsugu(井上智亜) P305  
 Inoue Toshiro(井上豊志郎) P230  
 Ishibe Masaru(石部勝) A208

Ishida Sachinobu(石田祐宣) P156  
 Ishigooka Yasushi(石郷岡康史) P137  
 Ishii Mamoru(石井守) P219  
 Ishii Masayoshi(石井正好) B101  
 Ishii Shoken(石井昌憲) P336  
 Ishijima Kentaro(石島健太郎) P282  
 Ishikawa Ryo(石川龍) C205  
 Ishikawa Yuki(石川由紀) B201  
 Ishiwata Hiroomi(石渡宏臣) A209  
 Ishizawa Misa(石澤みさ) P180  
 Isoda Fusako(磯田総子) P231  
 Itano Toshihisa(板野稔久) C409  
 Ito Kibou(伊藤希望) P159  
 Itoh Aya(伊藤文) A303  
 Itoh Hisanori(伊藤久徳) C412  
 Iwabuchi Hironobu(岩渕弘信) P325  
 Iwasaki Hiroyuki(岩崎博之) P309  
 Iwasaki Toshiki(岩崎俊樹) C454

## &lt;K&gt;

Kadosaki Gaku(門崎学) P131  
 Kai Chihiro(甲斐千尋) P311  
 Kai Kenji(甲斐憲次) D205  
 Kai Kenji(甲斐憲次) D207  
 Kajikawa Yoshiyuki(梶川義幸) P209  
 Kajino Mizuo(梶野瑞王) D209  
 Kamahori Hiroataka(釜堀弘隆) P216  
 Kamide Kazumi(上出一美) P182  
 Kanai Hidemoto(金井秀元) A206  
 Kanega Masahiko(金賀将彦) P244  
 Katayama Masayuki(片山勝之) A203  
 Kato Kuranoshin(加藤内藏進) B204  
 Kato Teruyuki(加藤輝之) A108  
 Katsumata Masaki(勝俣昌己) D453  
 Kawabata Takuya(川畑拓矢) C102  
 Kawai Takashige(河合隆繁) P301  
 Kawai Toru(河合徹) P140  
 Kawamura Ryuichi(川村隆一) B308  
 Kawasaki Yasukazu(川崎泰一) D403  
 Kawasaki Zenichiro(河崎善一郎) P330  
 Kawashima Shigeto(川島茂人) D402  
 Kawatani Yoshio(河谷芳雄) D104  
 Kazaoka Ryo(風岡亮) P276  
 Kinoshita Atsuya(木下篤哉) P175  
 Kita Kazuyuki(北和之) D305  
 Kitabatake Naoko(北畠尚子) P366  
 Kitamura Yuji(北村祐二) P120  
 Kiyohara Yasutomo(清原康友) P258  
 Kobayashi Chiaki(小林ちあき) C302  
 Kobayashi Fumiaki(小林文明) A210  
 Kobayashi Shinya(古林慎哉) P115  
 Koide Hiroshi(小出寛) P217  
 Kojima Masaya(小嶋正也) P250

- Komazaki Yuichi(駒崎雄一) P273  
 Komine Kenji(小峯賢治) P322  
 Kondo Hiroaki(近藤裕昭) D404  
 Kondo Hiroaki(近藤裕昭) P382  
 Konishi Jyoyo(小西丈子) P223  
 Kosaka Yosuke(小坂洋介) P321  
 Kozu Toshiaki(古津年章) P142  
 Kubose Kentaro(窪瀬健太郎) P160  
 Kubota Takuji(久保田拓志) P343  
 Kuji Makoto(久慈誠) A306  
 Kumagai Yukihiro(熊谷幸浩) C104  
 Kuroda Yuhji(黒田友二) B305  
 Kurosaki Yasunori(黒崎泰典) P176  
 Kusunoki Kenichi(楠研一) A105  
 Kusunoki Shoji(楠昌司) B407  
 Kuwagata Tsuneo(桑形恒男) D401
- <L>  
 Lestari Rosbintartikartika C304
- <M>  
 Machida Toshinobu(町田敏暢) D302  
 Maki Takashi(眞木貴史) P278  
 Mano Yuzo(真野裕三) P124  
 Masamura Shiro(正村史朗) B109  
 Mase Hirofumi(間瀬博文) C301  
 Mashiko Wataru(益子渉) P166  
 Masuda Kazuhiko(増田一彦) P125  
 Matsui Ichiro(松井一郎) D460  
 Matsumoto Minobu(松元三展) P259  
 Matsumoto Takanori(松本隆則) P116  
 Matsushita Hiroki(松下拓樹) P157  
 Matsushita Hiroki(松下拓樹) P206  
 Matsuura Tomonori(松浦知徳) B404  
 Michimoto Koichiro(道本光一郎) P143  
 Mimura Yasunori(三村恭則) A205  
 Minematsu Hiroaki(峯松宏明) A307  
 Minobe Syoujiro(見延庄士郎) B310  
 Misaki Toshimitsu(味崎利光) C410  
 Miura Daisuke(三浦大輔) A211  
 Miura Hiroaki(三浦裕亮) P158  
 Miura Yuichi(三浦勇一) P151  
 Miyakawa Takuma(宮川拓真) D213  
 Miyake Satoka(三宅里香) P383  
 Miyazaki Kazuyuki(宮崎和幸) D311  
 Miyazaki Kazuyuki(宮崎和幸) P177  
 Miyazaki Yasuhiko(宮崎保彦) P369  
 Miyazaki Yuuzou(宮崎雄三) D211  
 Mizuno Akira(水野亮) D307  
 Mochizuki Takashi(望月崇) B401  
 Monden Kazushi(門田和士) P133  
 Mori Akiko(森明子) D102  
 Mori Kazumasa(森一正) P146  
 Mori Mariko(森真理子) P255  
 Mori Masato(森正人) C457
- Mori Takeshi(森武史) P281  
 Mori Yukihiko(森征洋) P162  
 Mori Yukihiko(森征洋) P355  
 Morino Yu(森野悠) D212  
 Morita Juntaro(森田純太郎) C308  
 Moriwaki Ryo(森脇亮) P265  
 Moteki Nobuhiro(茂木信宏) P171  
 Mukougawa Hitoshi(向川均) C460  
 Murakami Hiroyuki(村上裕之) D409  
 Murakami Masataka(村上正隆) A106  
 Murakami Shigenori(村上茂教) B311  
 Murata Fumie(村田文絵) C311  
 Murata Isao(村田功) P316  
 Murata Yasuhiro(村田泰洋) P107  
 Murayama Shohei(村山昌平) D301  
 Murayama Toshiyuki(村山利幸) D206  
 Murazaki Kazuyo(村崎万代) P111
- <N>  
 Nagano Yoshinori(永野良紀) P307  
 Nagashima Tatsuya(永島達也) B408  
 Nagata Rena(永田玲奈) P204  
 Nagumo Nobuhiro(南雲信宏) P353  
 Nakagawa Yuka(中川由雅) B207  
 Nakai Sento(中井専人) A207  
 Nakai Taro(中井太郎) P153  
 Nakajima Hideaki(中島英彰) D308  
 Nakajima Kensuke(中島健介) P319  
 Nakamura Hisashi(中村尚) C461  
 Nakamura Takuji(中村卓司) D109  
 Nakamura Takuya(中村卓也) C303  
 Nakamura Tetsu(中村哲) B303  
 Nakamura Toshiyuki(中村敏行) P155  
 Nakata Shinya(仲田伸也) P163  
 Nakayama Yuuki(中山祐貴) B203  
 Nakazato Masahisa(中里真久) P351  
 Nakazawa Tetsuo(中澤哲夫) P268  
 Nakono Tomoko(中野智子) P380  
 Naoe Hiroaki(直江寛明) P372  
 Nasuno Tomoe(那須野智江) A109  
 Nii Tomomi(新居知巳) P310  
 Niisoe Tamon(新添多聞) P376  
 Ninomiya Kozo(二宮洗三) A201  
 Nishi Noriyuki(西憲敬) P168  
 Nishigaki Tsuguhito(西垣語人) P348  
 Nishii Kazuaki(西井和晃) D101  
 Nishiyama Koji(西山浩司) P262  
 Nishizawa Tomoaki(西澤智明) A311  
 Niwano Masanori(庭野将徳) C403  
 Niwano Masashi(庭野匡思) D413  
 Noguchi Katsuyuki(野口克行) D107  
 Noguchi Katsuyuki(野口克行) P378  
 Nomura Manami(野村真奈美) P350  
 Nomura Mitsuharu(野村光春) C408  
 Nozawa Toru(野沢徹) B411
- <O>  
 Obata Atsushi(小畑淳) B413  
 Oda Masahito(小田昌人) C202  
 Oda Masahito(小田昌人) P167  
 Odaka Masatsugu(小高正嗣) P122  
 Ogi Masayo(小木雅世) B302  
 Ohi Atsushi(大井淳) P149  
 Ohgashi Tadayasu(大東忠保) A202  
 Ohnawa Masashi(大縄将史) C209  
 Ohno Yuichi(大野裕一) D461  
 Ohsawa Teruo(大澤輝夫) D406  
 Okabe Masayo(岡部雅世) P238  
 Okada Kikuo(岡田菊夫) P375  
 Okamoto Hajime(岡本創) A310  
 Okano Masaaki(岡野雅映) P356  
 Okazaki Takeshi(岡崎豪) A103  
 Oku Yuichiro(奥勇一郎) P232  
 Onogi Kazutoshi(大野木和敏) B102  
 Onozuka Hiroshi(小野塚裕也) A312  
 O' oishi Ryouta(大石龍太) P214  
 Oshima Kazuhiro(大島和裕) B304  
 Oshima Naga(大島長) D304  
 Ota Akihiro(太田明宏) P306  
 Owada Michio(大和田道雄) B206  
 Owada Michio(大和田道雄) D412
- <P>  
 Peng Xindong(彭新東) D410  
 Prasad V.S. C306
- <R>  
 Rikiishi Kunio(力石國男) B211  
 Ryu Chan-Su P264
- <S>  
 Saito Kazuo(斎藤和雄) C103  
 Saitoh Naoko(齋藤尚子) P274  
 Sakamaki Hiroshi(酒巻洋) P134  
 Sakamoto Kasami(坂本雅巳) P314  
 Sakamoto Takashi(坂本天) B309  
 Sakanashi Takamasa(坂梨貴将) P340  
 Sakanoi Kazuyo(坂野井和代) P315  
 Sakurai Atsushi(桜井篤) P227  
 Sampe Takeaki(三瓶岳昭) C465  
 Sasaki Akira(佐々木聰) P349  
 Sasaki Hiroshi(佐々木宏) P272  
 Satake Shinsuke(佐竹晋輔) P324  
 Sato Eiichi(佐藤英一) C204  
 Sato Hiroki(佐藤弘樹) P178  
 Sato Kaori(佐藤可織) P333  
 Sato Tomonori(佐藤友徳) B106  
 Sato Yoshiaki(佐藤芳昭) P161  
 Sawada Masahiro(沢田雅洋) C203  
 Schutgens Nick P233  
 Seiki Ayako(清水亜矢子) C309

- Seino Naoko(清野直子) D202  
 Seki Takanori(関隆則) P102  
 Sekiguchi Mihou(関口美保) P326  
 Sekimoto Satoru(関本論) C206  
 Seto Shinta(瀬戸心太) P130  
 Seto Trihandoko P371  
 Shiba Sadataka(芝定孝) A102  
 Shibagaki Yoshiaki(柴垣佳明) P169  
 Shibata Noriko(柴田のり子) P363  
 Shige Shoichi(重尚一) P332  
 Shimamura Yuichi(島村雄一) P329  
 Shimizu Atsushi(清水厚) P173  
 Shimizu Takahiro(清水崇博) P341  
 Shimizu Tamotsu(清水保) B414  
 Shimose Kenichi(下瀬健一) P253  
 Shimoyama Kou(下山宏) P359  
 Shinoda Taro(篠田太郎) P261  
 Shiogama Hideo(塩竈秀夫) C458  
 Shiokawa Kazuo(塩川和夫) P236  
 Shiokawa Kazuo(塩川和夫) P320  
 Shiraki Masanori(白木正規) C110  
 Shirooka Ryuichi(城岡竜一) D454  
 Sudo Kengo(須藤健悟) P280  
 Sueyoshi Masakazu(末吉雅和) C211  
 Sueyoshi Souichiro(末吉惣一郎) D452  
 Sugawara Hirofumi(菅原広史) D405  
 Sugawara Hirofumi(菅原広史) P256  
 Sugaya Masako(菅谷真子) P257  
 Sugimoto Naohiro(杉本尚悠) P337  
 Sugimoto Nobuo(杉本伸夫) D459  
 Sugimoto Norihiko(杉本憲彦) C210  
 Sugimoto Shiori(杉本志織) P213  
 Sugita Akiko(杉田明子) P127  
 Sugita Takafumi(杉田考史) D108  
 Suzuki Chieko(鈴木智恵子) P260  
 Suzuki Junko(鈴木順子) C404  
 Suzuki Kazue(鈴木香寿恵) P104  
 Suzuki Kentaroh(鈴木健太郎) A101  
 Suzuki Shin(鈴木臣) P121  
 Suzuki Tomoyuki(鈴木智幸) P345  
 Suzuki Tsuneaki(鈴木恒明) C407
- <T>  
 Tachibana Yoshihiro(立花義裕) B301  
 Tagami Hirotaka(田上浩孝) B202  
 Taguchi Junpei(田口純平) P103  
 Taguchi Shoichi(田口彰一) P283  
 Tahira Makoto(田平誠) P152  
 Tahira Makoto(田平誠) P228  
 Takagi Masahiro(高木征弘) C208  
 Takahashi Chiharu(高橋千陽) P254  
 Takahashi Kenshi(高橋けんし) P381  
 Takahashi Kiyotoshi(高橋清利) P203  
 Takahashi Kiyotoshi(高橋清利) P313  
 Takahashi Masaya(高橋昌也) P365
- Takahashi Nobuhiro(高橋暢宏) A302  
 Takaki Toshiaki(高木敏明) P164  
 Takashima Hisahiro(高島久洋) C405  
 Takayabu Izuru(高藪出) P220  
 Takayabu Izuru(高藪出) C451  
 Takayabu Yukari(高藪縁) C307  
 Takayama Yozo(高山陽三) A308  
 Takayama Yozo(高山陽三) A309  
 Takekawa Nobuyuki(竹川暢之) D210  
 Takemi Tetsuya(竹見哲也) D455  
 Tanaka Hiroharu(田中博春) P229  
 Tanaka Hiroshi(田中博) B307  
 Tanaka Kenji(田中健路) P251  
 Tanaka Minoru(田中実) P109  
 Tanaka Taichu(田中泰宙) P277  
 Tanaka Tomoaki(田中智章) P226  
 Tanimoto Hiroshi(谷本浩志) D306  
 Tanimoto Youichi(谷本陽一) C464  
 Terao Toru(寺尾徹) P271  
 Teshiba Michihiro(手柴充博) P269  
 Toda Motomu(戸田求) P101  
 Togawa Hiroki(戸川裕樹) P327  
 Tomine Kikuro(遠峰菊郎) A212  
 Tomita Hirofumi(富田浩文) A110  
 Tomita Tomohiko(富田智彦) P112  
 Tsuboki Kazuhisa(坪木和久) A204  
 Tsubota Yukimasa(坪田幸政) C108  
 Tsubota Yukimasa(坪田幸政) C109  
 Tsuji Koichiro(辻宏一郎) C406  
 Tsujino Fumitaka(辻野文剛) C310  
 Tsukamoto Osamu(塚本修) D458  
 Tsumura Tomohiko(津村知彦) P317  
 Tsunematsu Nobumitsu(常松展充) D203  
 Tsuruta Haruo(鶴田治雄) D208  
 Tsutsumi Yukitomo(堤之智) P374
- <U>  
 Uchida Satoshi(内田敬) P113  
 Uematsu Akihisa(植松明久) P344  
 Uenobe Fumi(上延史) P165  
 Ujii Masashi(氏家将志) P302  
 Umetani Kazuhiro(梅谷和弘) A304  
 Uno Itsushi(鵜野伊津志) P377  
 Uno Sachiyo(宇野幸代) P222  
 Ushio Tomoo(牛尾知雄) P248  
 Ushiyama Tomoki(牛山朋来) P252
- <W>  
 Wada Akira(和田晃) P136  
 Wada Katsuya(和田勝也) P139  
 Wakatsuki Yasutaka(若月泰孝) P105  
 Wakayama Toshio(若山俊夫) P235  
 Watanabe Akira(渡辺明) P148  
 Watanabe Koichi(渡辺幸一) P275  
 Watanabe Masahiro(渡部雅浩) B306
- Watanabe Masahiro(渡部雅浩) C455  
 Watanabe Shingo(渡辺真吾) D103  
 Watanabe Tsutomu(渡辺力) P212  
 Watarai Yasushi(渡来靖) P318
- <X>  
 Xie Shang-Ping(谢尚平) C463
- <Y>  
 Yagai Isamu(谷貝勇) B210  
 Yamada Yoshinori(山田嘉典) P218  
 Yamada Yukiko(山田由貴子) P221  
 Yamaguchi Takako(山口隆子) P339  
 Yamamori Miho(山森美穂) D106  
 Yamamoto Akira(山本哲) D204  
 Yamamoto Hirotsugu(山本浩嗣) P135  
 Yamamoto Kentaro(山本健太郎) P308  
 Yamamoto Masaru(山本勝) P172  
 Yamamoto Masaru(山本勝) P364  
 Yamamoto Masayuki(山本真之) P270  
 Yamamoto Munehisa(山本宗尚) P145  
 Yamamoto Takashi(山本享) P241  
 Yamanaka Goro(山中吾郎) P242  
 Yamane Yusuke(山根悠介) P246  
 Yamanouchi Akiko(山内明子) B212  
 Yamashita Kazuya(山下和也) P357  
 Yamashita Koji(山下浩史) P141  
 Yamazaki Akihiro(山崎明宏) P126  
 Yamazaki Nobuo(山崎信雄) B209  
 Yamazaki Takeshi(山崎剛) B105  
 Yamazaki Yosuke(山崎陽介) D408  
 Yasunaga Kazuaki(安永数明) B405  
 Yasunaga Kazuaki(安永数明) P370  
 Yatagai Akiyo(谷田貝重紀代) B104  
 Yokobori Makoto(横堀誠) B108  
 Yokogi Ken(横木研) C411  
 Yokohata Tokuta(横畠徳太) B412  
 Yokomori Junichi(横森淳一) D456  
 Yoneda Jiro(米田次郎) P352  
 Yoneyama Kunio(米山邦夫) D451  
 Yoshida Akira(吉田聡) C453  
 Yoshida Masumi(吉田真純) P240  
 Yoshida Yukio(吉田幸生) P132  
 Yoshikado Hiroshi(吉門洋) P114  
 Yoshiki Motoyoshi(吉識宗佳) D105  
 Yoshimatsu Masayuki(吉松雅行) P117  
 Yoshimura Hiromasa(吉村裕正) P263  
 Yoshimura Jun(吉村純) B403  
 Yoshino Jun(吉野純) P323  
 Yoshioka Kensuke(吉岡謙介) P237  
 Yumimoto Keiya(弓本桂也) P358  
 Yumoto Michiaki(湯本道明) P215
- <Z>  
 Zaiki Masumi(財城真寿美) P304